第85回　定期総会議案書

平成29年度　事業報告書

■平成 30 年 6 月 25 日（月）20：00 ～　■那覇市医師会館ホール

＜式次第＞

第１　開会宣言
第２　出席者報告
第３　会長挨拶
第４　議事録署名人の指名
第５　報　告
(1) 平成 29 年度事業報告に関する件
(2) 平成 29 年度会計監査報告に関する件
第６　議　事
第１号議案　平成 29 年度決算書の承認に関する件
１．事務局会計
２．生活習慣病検診センター検診事業会計
３．生活習慣病検診センター検査事業会計
４．那覇看護専門学校会計
第２号議案　役員の選出について
第７　閉　会

一般社団法人 那覇市医師会

目　次

Ⅰ　事務局

1．総　会 …… 1
2．理事会 …… 1
3．評議員会 …… 1
4．会員の動向 …… 2
5．職員の動向 …… 3
6．理事会、評議員会、各種委員会 …… 3
7．平成 29 年度 顕彰者名簿 …… 10
8．財務検討委員会 …… 10
9．広報委員会 …… 10
10．禁煙推進委員会 …… 11
11．学校保健運営委員会 …… 11
12．救急医療対策委員会 …… 13
13．沖縄周産期ネットワーク協議会 …… 13
14．病診連携委員会 …… 15
15．学術・生涯教育委員会 …… 16
16．糖尿病治療検討委員会 …… 18
17．那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議 …… 20
18．腎疾患重症化予防のための戦略研究（FROM-J）及び地域特性に応じた
慢性腎臓病重症化予防のための生活食事指導法の確立（SOFT-J）…… 24
19．感染症・予防接種委員会 …… 24
20．うつ病対策検討委員会 …… 25
21．会員福祉 …… 26

Ⅱ　検診事業

1．生産性について …… 27
2．生活習慣病検診センター運営委員会 …… 28
3．生活習慣病検診センター読影委員会 …… 31
4．那覇市在宅医療・介護連携推進事業 …… 31
5．那覇地域産業保健センターの活動について …… 34
6．LHR 事業 …… 35

Ⅲ　検査事業

1．新管理基準書に基づく品質マネジメント体制強化 …… 35
2．人材育成の強化 …… 36
3．検査部運営管理 …… 36
4．渉外機能の強化 …… 36

Ⅳ　看護学校

1．各種委員会開催状況 …… 37
2．看護師の養成と資質の向上 …… 38
3．職員の資質の向上対策 …… 38
4．臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保 …… 40
5．教育環境の整備 …… 43
6．対外広報・地域との連携 …… 43
7．後援会及び同窓会活動の支援及び里帰りトレーニングの実施 …… 43

Ⅴ　各種会議状況

1．第 45 回那覇市医療協議会 …… 44
2．第 54 回九州首市医師会連絡協議会 …… 45
3．第 59 回地区医師会連絡協議会 …… 46

Ⅰ　事務局

1. 総　会

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に開催した総会は2回で次の通りである。

第83回　那覇市医師会定期総会
日時 : 平成 29 年 6 月 26 日（月）午後 8 時 00 分～
場所 : 那覇市医師会館 4 階ホール

〈総会次第〉
第 1　開会宣言
第 2　出席者報告
第 3　会長挨拶
第 4　議事録署名人の指名
第 5　報　告
　(1) 平成 28 年度事業報告に関する件
　(2) 平成 28 年度会計監査報告に関する件
第 6　議　事
　第 1 号議案　平成 28 年度決算書の承認に関する件
　　1. 事務局会計
　　2. 生活習慣病検診センター検診事業会計
　　3. 生活習慣病検診センター検査事業会計
　　4. 那覇看護専門学校会計
第 7　閉　会

第84回　那覇市医師会臨時総会
日時 : 平成 30 年 3 月 26 日（月）午後 8 時 00 分～
場所 : 那覇市医師会館 4 階ホール

〈総会次第〉
第 1　開会宣言
第 2　出席者報告
第 3　会長挨拶
第 4　議事録署名人の指名
第 5　議事
　（1）第 1 号議案 : 平成 30 年度事業計画 (案) 承認に関する件
　（2）第 2 号議案 : 平成 30 年度収支予算 (案) 承認に関する件
　　1. 事務局
　　2. 生活習慣病検診センター検診事業
　　3. 生活習慣病検診センター検査事業
　　4. 那覇看護専門学校
　（3）第 3 号議案 : 沖縄県医師会代議員の選出に関する件
第 6　閉会

2. 理事会　　記録の一覧表は巻末に一括掲載

3. 評議員会　　記録の一覧表は巻末に一括掲載

4. 会員の動向

平成 30 年 3 月 31 日現在における本会員数は、510 名である。入会・退会会員は次のとおりである。

区　分	会　員　数	構　成　比
A 会 員	238 名	46.7%
B 会 員	272 名	53.3%
合　　計	510 名	100%

入会会員（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

氏　　名	病　医　院　名	会員区分	入 会 日
伊佐　智博	沖縄赤十字病院	B	29/04/01
石井　隆弘	沖縄協同病院	B	04/01
金城　勤也	沖縄協同病院	B	04/01
金城　よしの	沖縄協同病院	B	04/01
酒井　一徳	沖縄協同病院	B	04/01
澤紙　秀太	沖縄協同病院	B	04/01
玉城　由佳理	沖縄協同病院	B	04/01
長間　将樹	沖縄協同病院	B	04/01
大城　綾乃	沖縄協同病院	B	04/01
亀山　泰樹	沖縄協同病院	B	04/01
佐藤　亜美	沖縄協同病院	B	04/01
知念　央恵	沖縄協同病院	B	04/01
豊里　一郎	沖縄協同病院	B	04/01
中村　一希	沖縄協同病院	B	04/01
新里　盛朗	ゆずりは訪問診療所	B	04/01
砂川　長彦	沖縄赤十字病院	B	04/01
徳嶺　辰彦	大浜第一病院	B	04/01
宮里　雅志	自宅会員	B	04/01
滝上　なお子	那覇西クリニック	B	05/01
安里　瞳	安里眼科おもろまち駅前	A	06/01
大村　更紗	沖縄協同病院	B	07/01
喜久村かおり	沖縄協同病院	B	07/01
増田　暁史	沖縄協同病院	B	07/01
内之倉　弘和	沖縄協同病院	B	07/01
與那原　稔	自宅会員	B	07/01
東　理人	沖縄協同病院	B	09/01
新垣　紀子	あらかき内科クリニック	A	10/01
金城　仁	沖縄協同病院	B	10/01
渡邉　廉也	おもろまちメディカルセンター	B	10/01
上原　健	沖縄協同病院	B	11/01
日比野　世光	沖縄協同病院	B	11/01
吉川　一洋	沖縄協同病院	B	11/01
友利　俊一	上原産婦人科	A	12/01
城本　高志	大浜第一病院	B	12/01
饒波　剛	自宅会員	B	30/01/23
崎原　幸美	大浜第一病院	B	03/01
佐久川　紀彦	小禄病院	B	03/01

退会会員（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

氏　　名	病　医　院　名	会員区分	退 会 日
下地　武義	天久台病院	B	29/03/31
玻座真　博公	はざま胃腸内科クリニック	B	04/20
徳田　章哲	介護老人保健施設緑寿園	A	04/30
横山　永子	自宅会員	B	04/30
仲本　嘉見	仲本病院（逝去）	B	07/02
仲松　栄	仲松胃腸科外科(逝去)	A	07/18
伊志嶺　玄喜	伊志嶺整形外科(逝去)	B	07/28
山城　則亮	自宅会員（逝去）	B	08/14
島袋　隆	沖縄協同病院	B	08/31
島袋　春弘	自宅会員	B	09/30
前城　健二	自宅会員（逝去）	B	11/02
長田　紀春	自宅会員（逝去）	B	12/22
池村　豪人	つかさクリニック	A	12/31
阿佐　実	つかさクリニック	B	12/31
新垣　光之	クリア・スキンクリニック那覇	A	30/01/31
神里　賢三	国場十字路医院	A	02/28
伊藤　仁人	沖縄協同病院	B	03/31
岩倉　真也	沖縄協同病院	B	03/31
親富祖　徹	沖縄協同病院	B	03/31
谷口　彩	沖縄協同病院	B	03/31
仲西　大輔	沖縄協同病院	B	03/31
與那原由里加	沖縄協同病院	B	03/31
安次嶺　宏哉	沖縄協同病院	B	03/31
久場　弘子	沖縄協同病院	B	03/31
玉城　由佳理	沖縄協同病院	B	03/31
中里　結花	沖縄協同病院	B	03/31
増田　暁史	沖縄協同病院	B	03/31
柴田　良子	クリニック安里	B	03/31
石田　友樹	はいさいクリニック	B	03/31
喜久村　徳進	自宅会員	B	03/31

5. 職員の動向

平成 30 年 3 月 31 日現在における本会職員数は 122 名となっている。
職種別職員数は次表のとおりである。

区　　分	職　　員　　数			備　考
	合　　計	正　職　員	臨時パート等	
医療職 (男子) (女子)	37 (5) (32)	13 (4) (9)	24 (1) (23)	
教育職 (男子) (女子)	25 (5) (20)	20 (4) (16)	5 (1) (4)	
事務職 (男子) (女子)	55 (17) (38)	30 (16) (14)	25 (1) (24)	
渉外職 (男子) (女子)	5 (5) (0)	5 (5) (0)	0 (0) (0)	
合　計 (男子) (女子)	122 (32) (90)	68 (29) (39)	54 (3) (51)	

6. 理事会、評議員会、各種委員会

（1）理事・監事　　(平成 28 年 6 月 27 日～平成 30 年 6 月 25 日)

役　　職	氏　　名	施　　設　　名	電　　話	F A X	所属班
会　　長	山城千秋	山城整形外科眼科医院	836-1100	831-7761	与　　儀
副会長	友利博朗	八重洲クリニック	861-8618	861-9857	若　　狭
副会長	玉井　修	曙クリニック	863-5858	863-5870	崇元寺
常任理事	田名　毅	首里城下町クリニック第一	885-5000	885-5007	首里・松川
理　　事	白井和美	白井クリニック	833-6500	833-6500	与　　儀
	喜納美津男	きなクリニック	885-4976	885-4978	首里・松川
	宮城政剛	新川クリニック	863-1511	863-1493	牧　　志
	糸数　功	糸数病院	863-4103	869-1551	崇元寺
	真志取浩貴	ましどり整形外科	854-6215	854-6215	与　　儀
	外間英之	外間眼科医院崇元寺	867-8100	867-8101	崇元寺
	長嶺　勝	ライフケアクリニック那覇	832-1721	832-1723	久茂地
	長嶺信治	沖縄赤十字病院	853-3134	853-7811	与　　儀
	玉城研太朗	那覇西クリニック	858-5557	858-5552	小　　禄
監　　事	岸本幸治	岸本外科医院	884-8430	886-3515	首里・松川
	大見洋二	自宅会員	861-3233	861-3233	崇元寺
	仲本昌一	仲本内科	860-1835	860-1869	崇元寺

（２）評議員

総会選出
(平成28年6月27日～平成30年6月25日)

	氏名	班名
1	議長 知念　弘	崇元寺
2	長嶺信夫	小禄
3	伊集守政	若狭
4	玉城信光	安里
5	知花朝美 (平成29年 3月31日まで)	与儀
6	伊志嶺　隆	久茂地
7	伊泊広二	与儀
8	山本　明	安里
9	崎原永辰	安里
10	嘉数　朗	崇元寺
11	又吉喜伸 (平成29年 4月1日より)	崇元寺

班選出
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	氏名	班名
1	副議長 野原　忍	与儀
2	中村明文	安里
3	比嘉　睦	小禄
4	安里　洋	開南
5	新城　憲	久茂地
6	上間　一	首里・松川
7	仲地紀茂	崇元寺
8	又吉康博 仲宗根しのぶ	壷屋
9	石川恒夫	牧志
10	松島朝彦	松尾
11	川平昌秀	美栄橋
12	原　信一郎	寄宮
13	真栄田篤彦	若狭

（３）沖縄県医師会代議員
(平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1	長嶺信夫	8	宮城政剛
2	山城千秋	9	糸数　功
3	友利博朗	10	外間実裕
4	知花朝美 (平成29年 3月31日まで)	11	外間英之
		12	真志取浩貴
5	玉井　修	13	玉城研太朗 (平成28年 6月27日より)
6	白井和美 (平成28年 6月27日まで)		
7	喜納美津男	14	長嶺信治 (平成29年 4月1日より)

（４）沖縄県医師連盟執行委員那覇市支部
(平成28年6月27日～平成30年6月25日)

1	山城千秋	10	玉城研太朗
2	友利博朗	11	岸本幸治
3	玉井　修	12	大見洋二
4	喜納美津男	13	仲本昌一
5	宮城政剛	14	知念　弘
6	糸数　功	15	山本　明
7	真志取浩貴	16	仲宗根栄作
8	外間英之	17	赤嶺和成
9	長嶺　勝	18	崎原永辰

（5）沖縄県医師会各種委員会委員　　（平成 28 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日）

委　員　会　名	委　　員　　名
・医療保険研究委員会	大城康彦　屋良 勲　親川幸信
・医療関係者対策委員会	山城千秋
・医事紛争処理委員会	外間英之　大城康一　友利博朗　平田晴男
・母体保護法指定医師審査委員会	－
・生涯学習委員会	宮城政剛
・産業医委員会	白井和美
・広報委員会	玉井　修　真志取浩貴
・定款等諸規定検討委員会	友利博朗
・地域医療委員会	長嶺　勝
・情報システム委員会	玉井　修
・臨床検査精度管理委員会	友利博朗
・福祉・経営委員会	友利博朗
・高齢者対策委員会	喜納美津男
・医療安全対策委員会委員	外間英之
・感染症・予防接種委員会	宮城政剛
・健康おきなわ 21 推進委員会	玉城研太朗
・会員の倫理向上委員会	外間英之
・会館運営委員会	玉井　修
・地域医療臨床研修委員会	糸数　功
・会費検討委員会	友利博朗
・治験審査委員会	大城康一　新里 譲　田名 毅
・災害医療委員会	長嶺信治　山城 寛　佐々木秀章　岩田雅史
・地域包括ケア対策委員会	喜納美津男
・医療事故調査支援委員会	－

（6）沖縄県医師会各会役員及び議員　　（平成 28 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日）

委　員　会　名	委　　員　　名
・学校医部会	山城千秋　白井和美　大見謝恒人
・勤務医部会	糸数　功　長嶺信治
・女性医師部会	外間雪野　崎原永作
・労災部会	友寄英雄　新垣　寛　島袋博之
・病院部会	新垣　哲　平良直樹　糸数　健
・警察医部会	山城千秋　金城國昭　山城雄二
・医師国民健康保険組合	玉城信光　稲田隆司　田名　毅　萩原啓介
・医師国民健康保険組合会	糸数　健　山城千秋　友利博朗　国吉　勲　屋宜　晃 石川哲夫　玉井　修　仲本昌一　白井和美　喜納美津男 外間英之
・医師協同組合	玉城信光　稲田隆司　田名　毅　白井和美　渡久山洋子

（7）各種委員会名簿　　（平成 28 年 7 月 1 日～ 30 年 6 月 30 日）

財務検討委員会	定款・諸規程改正検討委員会	医の倫理向上委員会 (医の倫理、医療安全、医事紛争)	学校保健運営委員会	那覇看護専門学校入学卒業等認定委員会
担当理事： 山城　千秋 副担当理事： 友利　博朗	担当理事： 山城　千秋 副担当理事： 友利　博朗	担当理事： 山城　千秋 副担当理事： 友利　博朗	担当理事： 白井　和美 副担当理事： 友利　博朗	担当理事： 糸数　功 副担当理事： 玉井　修
1 玉井　修 2 田名　毅 3 岸本幸治 4 大見洋二 5 仲本昌一	1 友寄英毅 2 国吉　勲 3 玉城信光 4 伊志嶺　隆	1 新里越郎 2 稲田隆司 3 川平昌秀 4 友寄英毅	1 国吉　勲 2 伊志嶺恒洋 3 玉城清嗣 4 崎原永辰 5 真栄田篤彦 6 上原弘行 7 糸数　功 8 外間英之 9 安田　忍 10 金森志奈子	1 山城千秋 2 教職員

・那覇看護専門学校運営委員会 ・学校評価委員会	生活習慣病検診センター運営委員会	学術・生涯教育委員会	広報委員会	禁煙推進委員会
担当理事： 糸数　功 副担当理事： 玉井　修	担当理事： 玉城　研太朗 副担当理事： 田名　毅	担当理事： 宮城　政剛 副担当理事： 田名　毅	担当理事： 真志取　浩貴 副担当理事： 玉井　修	担当理事： 長嶺　信治 副担当理事： 白井　和美
1 友利博朗 2 伊志嶺　隆 3 沖山光則 4 田名　毅 5 玉城研太朗 6 島袋孝子 7 山内昌喜 8 山城千秋	1 崎原永辰 2 又吉亮二 3 豊田和正 4 山本　明 5 上原　協 6 糸数　功 7 山城千秋	1 喜屋武邦雄 2 兼島　洋 3 島袋　洋 4 勝連英雄 5 新里仁哲 6 仲里　巖 7 喜納美津男	1 白井和美 2 新里仁哲 3 有銘一朗 4 嘉数　朗 5 間仁田　守 6 奥濱幸博 7 外間雪野 8 平田勝己	1 長嶺信夫 2 新里越郎 3 崎原永辰 4 知念　徹 5 上原弘行 6 田場桂子 7 国吉純郎 8 玉城信光 9 真栄田篤彦 10 山代　寛 11 仲本昌一 12 山根邦夫

病診連携委員会	救急医療対策委員会	産業保健委員会	検査部運営協議会	裁定委員会
担当理事：玉井　修 副担当理事：喜納　美津男	担当理事：長嶺　信治 副担当理事：玉井　修	担当理事：白井　和美	担当理事：友利　博朗	担当理事：山城　千秋
1 安慶田　英　樹	1 新　垣　敏　幸	1 辻　田　　敏	1 山　城　千　秋	1 糸　数　　健
2 新　垣　　均	2 伊　泊　広　二	2 山　城　千　秋	2 玉　井　　修	2 岸　本　幸　治
3 仲　吉　朝　邦	3 金　井　　透		3 宮　城　政　剛	3 新　里　越　郎
4 永　山　隆　盛	4 佐々木　秀　章		4 崎　原　永　辰	4 友　寄　英　毅
5 前　田　武　俊	5 高江洲　良　一			5 伊　集　守　政
6 平　良　直　樹	6 寺　田　泰　蔵			
7 伊　泊　広　二	7 仲　地　紀　茂			
8 大　嶺　　靖	8 仲　本　昌　一			
9 大　城　康　一	9 林　　峰　栄			
10 山　根　邦　夫	10 真栄田　篤　彦			
11 山　本　　明				
12 嘉　数　　朗				
13 山　城　千　秋				
14 友　利　博　朗				
15 宮　城　政　剛				
16 知　花　朝　美				
17 伊　佐　真　徳				
18 上　里　忠　彦				

チャリティー写真展実行委員会	糖尿病治療検討委員会	うつ病対策検討委員会	LHR 事業推進委員会	感染症・予防接種委員会
担当理事：外間　英之	担当理事：田名　毅	担当理事：玉井　修	担当理事：田名　毅	担当理事：宮城　政剛
1 宮　城　英　雅	1 湧　上　民　雄	1 田　名　　毅	1 崎　原　永　辰	1 糸　数　　修
2 新　里　越　郎	2 平　良　　剛	2 伊志嶺　　隆	2 山　城　千　秋	2 国　吉　　賢
3 知　花　朝　美	3 和　気　　亨	3 井　上　幸　代	3 知　念　　弘	3 玉那覇　康一郎
4 糸　数　　功	4 長　田　光　司	4 平　良　直　樹	4 高　良　英　一	4 仲　本　昌　一
5 真志取　浩　貴	5 石　川　修　作	5 長　崎　文　江	5 仲　程　正　哲	5 二　木　良　夫
6 仲　本　昌　一	6 砂　川　　優	6 横　田　　泉	6 仲　本　昌　一	6 宮　城　　聡
7 豊見城　直　樹		7 長　岡　研太郎	7 末　吉　常　邦	7 白　井　和　美
			8 清　水　義　博	8 友　利　博　朗
			9 志　茂　英　之	
			10 山　城　貴　子	
			11 大　城　　博	
			12 大　城　弘　明	
			13 屋　良　朝　雄	

那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会		在宅療養支援診療所連絡会		那覇市 CKD 病診連携推進会議	
担当理事： 長嶺　勝 副担当理事： 喜納　美津男		担当理事： 喜納　美津男 副担当理事： 長嶺　勝		担当理事： 田名　毅	
1	玉井　修	1	又吉嘉伸	1	宮良　忠
2	上間　一	2	嘉陽信子	2	糸数昌悦
3	嘉数　朗	3	宮城　聡	3	仲宗根　正
4	外間　浩	4	平良朝秀	4	比嘉　啓
5	仲宗根　正	5	喜屋武邦雄	5	真栄城修二
6	高良孔明	6	上間　進	6	屋宜宣治
7	仲宗根輝子	7	新垣安男	7	内嶺史恵
8	宮城愛子	8	下地忠夫	8	新城真紀
9	笠原大吾	9	山城千秋		
10	吉田陽子	10	伊志嶺恒洋		
11	新垣哲治	11	山根邦夫		
12	宮城能則	12	甲口知也		
13	末吉淳志	13	仲地紀茂		
14	末吉珠代	14	大濵　篤		
15	與那嶺　康	15	上間　一		
16	佐久川伊弘	16	嘉数　朗		
		17	石田吉樹		
		18	石田友樹		
		19	玉井　修		
		20	田名　毅		
		21	屋宜亮兵		
		22	新里盛朗		

（８）那覇市各種協議会事業

那覇市関係	委員会名	職名	委員氏名
社会福祉関係	那覇市民福祉まつり実行委員会	実行委員	山城　千秋
	那覇市社会福祉大会	運営委員	山城　千秋
	那覇市社会福祉審議会	臨時委員	喜納美津男
保健衛生関係	那覇市防災会議幹事委員会	委　員 監　事	長嶺　信治 白井　和美
	那覇市国民健康保険運営協議会	委　員 委　員 委　員	友利　博朗 川上　裕子 宮城　政剛
	国際通り夏祭り実行委員会	委　員	山城　千秋
	那覇市福祉事務所嘱託医 （保護課・障害福祉課）	内科担当医師 整形外科医師 精神科医師	国吉　　勲 山城　千秋 上地　弘一
	那覇市交通安全市民運動推進協議会	委　員	山城　千秋
	那覇市健康づくり推進協議会	副会長	山城　千秋
	那覇市公務災害補償等審査会	委　員	真志取浩貴
	那覇市公務災害補償等認定委員会	委　員 委　員 委　員	真志取浩貴 長崎　文江 石川　恒夫
	那覇市保健福祉医療審議会	委　員	喜納美津男
	特別障害者手当等認定審査会	委　員	外間　英之
	地域包括支援センター運営協議会	委　員	喜納美津男
	那覇市 CKD 病診連携推進会議	委　員	田名　　毅

（９）那覇市保健所関係

保健衛生関係	那覇市保健所運営協議会	委　員	山城　千秋
	南部地区保健医療協議会	会　長	山城　千秋
	南部地区地域医療圏域推進会議	委　員	田名　　毅
	那覇市新型インフルエンザ対策有識者会議	委　員	宮城　政剛

（10）労働局関係委員会

保健衛生関係	沖縄県労働基準協会	理　事	白井　和美

（11）沖縄県関係

保健衛生関係	沖縄県食育推進協議会	委　員	崎原　永辰
	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会	委　員	玉井　　修
介護関係	介護給付費審査委員	委　員 委　員 委　員	宮城　政剛 平良　朝秀 宮城　　聡

7. 平成 29 年度　顕彰者名簿（1 月～ 12 月）

月　　日	受賞内容	受賞者（班名）
1 月 7 日	沖縄県医師会長表彰	平田　晴男　　平田胃腸科・内科（安里班）
1 月 7 日	沖縄県医師会長表彰	金城　幸博　　たばる内科胃腸科（小禄班）
2 月 13 日	公衆衛生　厚生労働省大臣賞	喜久村徳清　　三原内科クリニック（首里･松川班）
5 月 11 日	那覇地区学校保健功労者表彰	吉田　　馨　　かおる小児科（与儀班）
11 月 2 日	日本医師会最高優功賞	國吉　　勲　　松川内科小児科医院（首里･松川班）
11 月 18 日	沖縄県公衆衛生大会県知事表彰	新里　越郎　　（美栄橋班）

8. 財務検討委員会

委員会を 2 回開催し、事業計画、予算、決算、医師会運営に関する事項について協議を重ねてきた。

（1）平成 28 年度各会計決算、事業報告の審議
（2）平成 29 年度各会計予算、事業計画の審議
（3）本会の 5 年間の各事業の中期見通しを審議

9. 広報委員会

委員会を 4 回開催し、主に下記の事項について協議し実施した。

（1）医師会報

・那覇市医師会報を春季号・夏季号・秋季号・新春号として 4 回発行した。
　今年度も会員諸氏のご協力もあり、より充実した会報を発行する事ができた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。なお、会報各号の詳細な内容は、紙面の都合上、勝手ながら割愛させていただきます。

・顔写真付き会員名簿（第 9 版・2017 年版）を発行した。
　五十音順で施設名から施設長を索引できるようにし、さらに掲載ページも入れることによって、先生方が索引しやすくなるよう工夫した。

（2）医師会ニュース

　那覇市医師会ニュースは第 1 号を平成 6 年 3 月 29 日に発行し、迅速な情報提供媒体として、積極的にタイムリーな情報を提供してきた。平成 29 年度は 34 回発行し、理事会速報、評議員会報告、総会報告、その他会員に有用なタイムリーな情報（学童定期健康診断後のアンケート集計結果報告、重大ニュース、JKA 検診車整備補助事業胃部デジタル検診車披露式、医療廃棄物処理施設の視察報告）など、通算、第 994 号まで発行されている。今後も適時発行していきたい。なお､節目となる第 1000 号では、これまでの広報担当理事に「第 1000 号によせて」を執筆いただき、特別号として発行する予定である。

（3）沖縄県医師会対外広報への協力

　沖縄県医師会が担当している県内 2 紙の医学情報欄、「命ぐすい耳ぐすい」（沖縄タイムス社)、「ドクターのゆんたくひんたく」（琉球新報社）の原稿について、多くの先生方にご投稿いたいた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。

10. 禁煙推進委員会

那覇市医師会では２年に一度、那覇市医師会所属の医療機関で喫煙状況を調査しており今年度も 100％の回収ができた。調査結果を見ると２年前に比較し、相対的に悪化がみられる。まず男性医師の喫煙者が 37 人（6.6％）、女性看護師 139 人（5.9％）、男性検査技師 16 名（27.1％）、女性事務職員 47 名（5.2％）も喫煙者が増加している。その中にあって女性検査技師は喫煙者が平成 23 年以降 0％で賞賛に値する。

11. 学校保健運営委員会

（１）定期健康診断前の講習会

日　時：平成 29 年５月 17 日（水）　午後７時 30 分～
会　場：那覇市医師会・４階ホール

1. 開会
2. 検診流れについて・・・・白井 和美 担当理事
3. 各科検診のポイント
   - ・内科・・・・・上原 弘行 先生（うえはら小児科医院）
   - ・眼科・・・・・外間 英之 先生（外間眼科医院 崇元寺）
   - ・耳鼻咽喉科・・真栄城 徳秀 先生（真栄城耳鼻咽喉科）
4. 特別講演
   「那覇市における児童・生徒の健康指標の改善を目指した食事介入研究について」
   琉球大学熱帯生物圏研究センター　等々力 英美 先生
5. 平成 28 年度の検診結果の報告（資料参照）
6. 平成 28 年度の小児生活習慣病検診結果の報告（資料参照）
7. 閉会

（２）学校定期健康診断実施マニュアルの作成

平成 29 年５月に本会として始めて、学校定期健康診断実施マニュアルを作成し、学校医、教育委員会等へ配布した。今後改定を加え、学校定期健康診断の向上に努めていく。

＜学校健診マニュアル執筆者＞

上原　弘行　　うえはら小児科
真栄城　徳秀　真栄城耳鼻咽喉科
金森　志奈子　那覇かなぐすく皮膚科
外間　英之　　外間眼科医院崇元寺
白井　和美　　白井クリニック

（３）那覇市「小児生活習慣病予防検診事業」の実施について

1. 検診対象者：４年生…3,255 名　（男：1,635 名・女：1,620 名）
   対　象　者：肥満度 20％以上…301 名（男：173 名　女：130 名）
   検診申込み：110 名
   ※全体に占める肥満児童の割合：9.247％
2. 採血日程　　※「採血」と「個人面談」のセットで受診希望者を募った。

採血：（１）７月 15 日（土）午前９時～午前 11 時　申込者 46 名　受診者 38 名
　　（２）７月 16 日（日）午前９時～午前 11 時　申込者 59 名　受診者 52 名
　　（３）漏れ者採血：７月 24 日～７月 25 日　　受診者…7 名
☆総合計：97 名

※検査項目

問診・血圧測定・身体計測・腹囲測定
血液一般検査（赤血球・白血球・ヘマトクリット・血色素量・血小板数）
血液生化学検査（血清蛋白・中性脂肪・LDL-Cho・HDL-Cho・GOT・GPT・γ-GTP）
空腹時血糖・HbA1c・尿酸

3. 血液検査等後の個別指導…（医師面談・管理栄養士面談）
日　程：8月19日（土）　午後2時～4時　　受診者37名
医　師：5名
①新垣敏行（新垣クリニック）
②白井和美（白井クリニック）
③久手堅憲史（くばがわメディカルクリニック）
④友利博朗（八重洲クリニック）
⑤井上円佳（那覇市立病院）
管理栄養士：6名（学校栄養士）

日　程：8月26日（土）　午後2時 ～ 4時　　受診者48名
医　師：4名
①新垣敏行（新垣クリニック）
②白井和美（白井クリニック）
③久手堅憲史（くばがわメディカルクリニック）
④玉城達也（那覇市医師会生活習慣病検診センター）※保健師
管理栄養士：5名（学校栄養士）

（4）5月・6月の小・中学校定期健康診断
これまで通り多くの会員のご協力を得て下記日程にて健診を実施した。
小学校・・・5月24日（水）～5月26日（金）
中学校・・・5月31日（水）～6月　2日（金）

（5）高校生の定期健康診断への医師派遣
市内7つの高等学校より医師派遣依頼を受け医師を派遣した。（医師延べ数82名）

（6）学校保健事務連絡会
日　時：30年2月7日（木）　午後5時30分～7時
会　場：那覇市教育委員会・那覇市役所11階会議室
構　成：那覇市教育委員会、養護教諭研究会、学校薬剤師会、南部地区歯科医師会、
那覇市医師会

（7）学校医紹介（平成29年度）
【小学校　校医協力会員】：36名

安謝小学校：玉井　修	城東小学校：天久 憲治	城北小学校：伊波 剛彦
城西小学校：仲吉 朝史	城南小学校：砂川 憲政	真嘉比小学校：金城 和夫
泊　小学校：上原 弘行	大道小学校：山本　明	松川小学校：国吉 勲
識名小学校：喜久村 徳清	壷屋小学校：真栄城徳秀	若狭小学校：豊田 和正
神原小学校：友寄 英毅	真和志小学校：吉田　馨	与儀小学校：山城 雄二
城岳小学校：山城 千秋	天妃小学校：真栄田 篤彦	開南小学校：宮城 政剛
垣花小学校：玉城 研太朗	小禄小学校：大田 征夫	高良小学校：比嘉 睦
宇栄原小学校：大浦　孝	松島小学校：池間 啓人	古蔵小学校：大城 康彦
上間小学校：上原 正照	大名小学校：玉城　仁	石嶺小学校：森　叶
仲井真小学校：神里 賢三	金城小学校：武村 盛信	曙　小学校：高良 吉広
小禄南小学校：玻座真 博明	真地小学校：久手堅 憲史	さつき小学校：上原　剛
銘苅小学校：宮城 聡	天久小学校：玉那覇康一郎	那覇小学校：仲地 紀之

【中学校　校医協力会員】：17名

安岡中学校：仲本 昌一	首里中学校：金城 盛男	真和志中学校：浦崎 貴志
石田中学校：白井 和美	那覇中学校：友利 博朗	上山中学校：仲原 靖夫
神原中学校：真志取 浩貴	寄宮中学校：銘苅 朝規	古蔵中学校：伊志嶺 恒洋
小禄中学校：寺田 幸平	松島中学校：前濱 宏之	城北中学校：金井　透
鏡原中学校：国吉 純郎	松城中学校：我那覇 安彦	仲井真中学校：長田　清
金城中学校：藤原 英士	石嶺中学校：田名　毅	

【高等学校　校医協力会員】：12 名
那覇高校：平良 朝秀　　首里高校：田名　毅　　真和志高校：新垣 敏幸
泊　高校：上里 忠正　　那覇商業高校：大島 教子　　那覇国際高校：大見 洋二
沖縄工業高校：仲宗根 和則　　小禄高校：新垣 武三　　首里東高校：末吉 利行
那覇西高校：金城 幸博　　那覇養護学校：仲田 行克・我喜屋 宗雄

【私立中高等学校】：1 名
沖縄尚学中高等学校：嘉数 昇康

（8）学校心臓検診班（心電図）
【心臓検診班】（12 名）
内原 栄輝・大城 康彦・我那覇 安彦・白井 和美・平良 直樹・武村 盛信・友利 博朗・友利 正行・真栄田 篤彦・中田 円仁・伊敷 哲也・横矢 隆宏

12. 救急医療対策委員会

（1）平成 29 年度 第 1 回航空機事故対処図上訓練
日　時：平成 29 年 10 月 19 日（木）　14 時～ 16 時
会　場：那覇空港事務所　1 階会議室
想　定：B-737 型機がエンジントラブルにより緊急着陸を要請し、空港北側の滑走路より侵入した。当該機はタッチダウン後にバランスを崩しオーバーランし、瀬長島手前の沼地帯で擱座した。（乗員：6 名、乗客：144 名　合計 150 名）
＊交通規制と現場への経路は？
＊部隊配置はどうしますか？
＊救出・救護の方法は？

（2）平成 29 年度 那覇空港航空機事故対処部分訓練
日　時：平成 29 年 11 月 30 日（木）　14 時～ 16 時
会　場：那覇空港西側台風時避難用エプロン
想　定：ABC 航空 2017 便 B-737 型機は、乗客乗員 56 名を乗せ那覇空港滑走路 36 に到着後、滑走路を逸脱。NO2 エンジンから火災が発生し、西側台風時避難用エプロン前付近の緑地帯で機体は停止した。なお、脱出は機体停止後に行われ、火災は胴体後部まで延焼し多数の負傷者がでた。負傷者収容場所を悪天候を想定し西側台風時避難用エプロンとした。
参加者：4 名（医師：1 名　看護師：1 名　事務局：2 名）

（3）平成 29 年度 那覇市総合防災訓練への参加
日　時：平成 29 年 10 月 21 日（土）　12 時～ 13 時終了
会　場：那覇新都心公園
＊悪天候の為、中止となりました。

13. 沖縄周産期ネットワーク協議会

平成 8 年にスタートした沖縄周産期ネットワーク協議会も 21 年目を迎え、現在では約 50 医療機関が会員となっている。定期的な症例検討会や役員会開催により、周産期管理における問題点を抽出し、周産期医療の充実に向けて改善に取組んでいる。

周産期医療整備計画が「第 7 次医療計画」に初めて盛り込まれることになり、当ネットワーク協議会より 3 名の委員が参画し、周産期現場の課題や問題点等を計画立案に取り組む事ができたものと思っているが、「絵に書いた餅」にならぬように注意深く見守りが必要になる。

また、法制度の変更に「助産施設の入会」が検討課題となり、入会に関しては慎重に対応していく。

（1）沖縄周産期ネットワーク協議会・定期総会について
定期総会（平成 28 年度収支決算及び平成 29 年度収支予算）
日　　時：平成 29 年 7 月 14 日（金）午後 7 時 00 分～午後 9 時
会　　場：沖縄小児保健センター・3 階ホール

議　　案：1．平成 28 年度事業報告
2．平成 28 年度収支決算報告
3．平成 29 年度事業計画（案）及び平成 29 年度予算（案）
4．平成 29 年度役員（案）
特別講演：『未熟児網膜症の診断と治療』
講　　師：産業医科大学医学部 眼科学教室　教授　近藤 寛之 先生

（２）沖縄周産期ネットワーク協議会・役員会について
第３回　役員会
日　　時：平成 29 年 6 月 22 日（木）　午後 7 時 30 分～ 9 時 05 分
会　　場：県立南部医療センター・こども医療センター　講堂３（２階）
協議事項：1．平成 29 年度総会・特別講演会について
2．周産期医療整備計画（第 7 次医療計画）について
3．当ネットワーク協議会の運営について
4．OPeN と搬送依頼システム
5．第 24 回周産期症例検討会（案）
6．第 50 回九州新生児研究会報告
7．次回の平成 29 年度　第 1 回役員会について

第１回　役員会
日　　時：平成 29 年 11 月 6 日（月）　午後 7 時 30 分～ 9 時 05 分
会　　場：県立南部医療センター・こども医療センター　会議室２・３（２階）
協議事項：1．各施設・近況報告：患者満床状況について
2．平成 30 年度総会・特別講演会について
3．助産施設のネットワークへの参加について
4．第 7 次医療保健計画に関与するために当ネットワーク協議会が「法人格取得（例：一般社団法人）」との関連について
5．OPeN（オープン）と搬送依頼システムについて
6．第 24 回周産期症例検討会の開催について
7．新生児蘇生法研修会現状報告
8．新生児連絡協議会
9．研修会等について
10．次回の平成 29 年度　第 2 回役員会について

第２回　役員会
日　　時：平成 30 年 3 月 1 日（木）　午後 7 時 30 分～ 9 時 05 分
会　　場：県立南部医療センター・こども医療センター　会議室２・３（２階）
協議事項：1．各施設・近況報告：患者満床状況について
2．平成 30 年度総会・特別講演会について
3．助産施設のネットワークへの参加について
4．周産期医療整備計画（第 7 次医療保健計画）について
5．当ネットワーク協議会の運営について
6．OPeN（オープン）と搬送依頼システムについて
7．第 25 回周産期症例検討会の開催について
8．新生児蘇生法研修会現状報告
9．研修会等について
10．次回の平成 29 年度　第 3 回役員会について

（３）沖縄周産期ネットワーク協議会・症例検討会について
第 23 回周産期症例検討会
日　　時：平成 29 年 5 月 26 日（金）午後 7 時 30 分～
会　　場：県立南部医療センター・こども医療センター　講堂
演 題 ①：術前に予想しなかった重症新生児仮死で新生児科を緊急要請した
HELLP 症候群の 1 例

講　　師：糸数病院　平田 真由美 先生
演 題 ②：呼吸苦を契機に多臓器不全に至った双胎妊娠の１例
講　　師：琉大病院　産婦人科　屋宜 久子 先生
参加者数：42 名（小児科医：6 名、産婦人科医：33 名、その他：3 名）

第 24 回周産期症例検討会
日　　時：平成 29 年 11 月 24 日（金）午後 7 時 30 分～
会　　場：県立南部医療センター・こども医療センター　講堂
演 題 ①：Ⅰ型糖尿病、胎児心疾患で分娩管理に困った症例
講　　師：琉球大学　産婦人科　金嶺 ちひろ 先生
演 題 ②：重症心疾患を見つけるために
講　　師：県立南部医療センター・こども医療センター　松川 格 先生・中矢代真美 先生
参加者数：33 名（小児科医：6 名、産婦人科医：26 名、研修医：1 名）

（４）新生児蘇生講習会について
新生児蘇生法を習得した医療従事者を養成し、新生児の救命と重篤な障害を回避し新生児死亡率の改善を目指した「新生児蘇生講習会」を今年度も重点項目として開催し、大きな実績を上げることができた。今後も他地区医師会の協力を得て展開していく。なお､当講習会は平成 24 年 6 月 15 日より､沖縄県医師会が県からの委託を受けて、今年度は 10 回開催した。

14. 病診連携委員会

病病・病診・診診連携の一環として、お互いの病院・診療所間の情報交換が、近年ますます重要になっていることから、代表として、病院施設 10 病院（天久台病院、おもろまちメディカルセンター、浦添総合病院、大浜第一病院、沖縄協同病院、南部医療センター・こども医療センター、沖縄赤十字病院、大道中央病院、豊見城中央病院、那覇市立病院）と診療所施設委員を含め病診連携委員会を構成し、よりよい連携を目指して活動してきた。

今年４月には、那覇市医師会内に「福祉部門」として『ちゅいしーじー那覇』を設置し、専任職員４名を配置することで､新たに｢医療分野｣と｢福祉分野｣の連携構築の元年となった。

さらに今年は、「医業支援システム」を立ち上げるべく、同システムの趣旨説明とご理解を求めて、病診連携委員会を始め、病診連携懇親会、評議員会にてご説明し、ご賛同をいただき、今年８月には、試行錯誤しながらも「医業支援システム」を稼動させた。同システム利用依頼が４件あり、２件に対して実際に医療支援活動を行った。医師派遣にご支援とご理解をいただいたことに深く感謝を申し上げます。

1．病診連携懇親会の開催について
（１）第 13 回　那覇市医師会　『病診連携懇親会』　報告
日　時：平成 29 年　5 月 27 日（土）　開場：午後５時より
会　場：那覇市医師会ホール（4F）
対象者：①那覇市医師会員と師長クラス（又は病診連携担当）
②病診連携の病院施設は 1 施設約 10 名程度（病診連携スタッフ含）
《式次第》受付‥17：00 ～
Ⅰ　意見交換会‥18：00 ～ 19：00
【テーマ：病診連携における現状と課題について】
①「病診連携」実態把握に関するアンケート調査報告
講師：大城 康一 先生　大浜第一病院　病院長
②那覇市医師会「医業支援システム（案)」について
講師：玉井　修 先生　那覇市医師会　副会長
【紹　介：那覇市在宅医療・介護連携支援センター（ちゅいしーじー那覇)】
設置場所：那覇市医師会　２階　（電話　098-860-5666（直通))
○今年４月より那覇市医師会内に開設している事の報告と併せて、担当職員の紹介を行った。
～　歓　談　～　（懇親会会場作り　19：50 ～ 19：00 ）

Ⅱ　懇　親　会‥19：00 ～ 21：30 頃
挨　拶　那覇市医師会　　会長　　山城 千秋　（山城整形外科眼科医院　院長）
乾　杯　病診連携委員会　委員長　大城 康一　（大浜第一病院　院長）
※　参加施設数：29 施設 / 参加者数：95 名　（医師‥37 名・スタッフ‥58 名）

2．病診連携委員会について
（１）第２回　病診連携委員会
日　時：平成 29 年　5 月 16 日（火）　19：30 ～ 21：55
会　場：那覇市医師会・4 階ホール
(協議事項)
1.「那覇市医師会　医業支援システム（案)」の立ち上げについて
2.「病診連携」実態把握に関するアンケート調査（H29-3 月・5 月実施）の集計報告について
3．平成 29 年度　病診連携懇親会（H29.5/27・土）の講演内容等について
(報告事項)
1.「那覇市医師会　医業支援システム（案)」の訪問説明について

（２）第３回　病診連携委員会　報告
日　時：平成 30 年　2 月 16 日（金）　19：30 ～ 20：55
会　場：那覇市医師会・4 階ホール
(協議事項)
1.「病診連携情報誌（ 2017 年度版)」の合評等について
2．ちゅいしーじー那覇（那覇市医師会　在宅医療・介護連携支援センター）よりアンケート調査の実施に向けて
（１）活動紹介　（別添資料）
（２）アンケート調査（高齢者の入院時及び救急搬送時の課題等について）の実施に向けて
3.「那覇市救急の日（仮称）の制定」及び「コンビニ受診の抑制」について
4．平成 30 年度「病診連携懇親会」の開催日程及び企画内容について
(報告事項)
1．第 13 回「病診連携懇親会（H29.05/27・土)」報告
2.「那覇市医師会　医業支援システム」の実施状況について
(お知らせ)
1.「市民フォーラム（３月 11 日・日)」の開催に向けて

15．学術・生涯教育委員会
（１）年間の認定講演会回数は 27 回を数えた。各病院で行なわれている講演会や症例検討会にも引き続き日医生涯教育認定参加証の発行を行なっている。
（２）主に那覇市医師会「学術・生涯教育講演会」として以下の講演会を当会ホールにて開催した。今回は文化講演会として、「ワインの楽しみ方　基本的なことから最新事情まで　～気軽にワインテイスティング方法を一緒に飲みながら体感しましょう～」と題してソムリエの前森裕人先生のお話をワイングラス片手に試飲しながら楽しく拝聴しました。

○日　時：平成 29 年 4 月 13 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『不思議な数学の世界へようこそ～』
講　師：特定非営利活動法人　数学・科学技術推進協会 MathMathGood
代表者：佐々木 敏雄 先生
参加者：34 名

○日　時：平成 29 年 5 月 11 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『先生っ！肩痛いんです…　－その痛み本当に 50 肩？－』
講　師：リハビリテーションクリニックやまぐち　　副院長　山口　浩 先生
参加者：17 名

○日　時：平成 29 年 6 月 8 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『浦添市における外国人診療の取組みと当院多文化間外来診療の現状と課題』
講　師：山本クリニック　院長　山本 和儀 先生
参加者：23 名

○日　時：平成 29 年 7 月 13 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演題①：『手術時期いろいろ～適切な手術時期は？』
講　師：沖縄協同病院　心臓外科部長　橋本　亘 先生
演題②：『低侵襲心臓血管手術に対する我々の私見』
講　師：沖縄協同病院　心血管センター長　八巻 文貴 先生
参加者：16 名

○日　時：平成 29 年 8 月 10 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『マイコプラズマ、百日咳、先天性サイトメガロ感染について』
～弊社ビックデータから見えてくる各感染症の特徴とレファレンススタンダード～
講　師：株式会社エスアールエル　特殊検査 H 課　臨床検査情報アドバイザー 飯田 慶治 先生
参加者：61 名

○日　時：平成 29 年 9 月 14 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『ヒアリ（火蟻）の生態について』
講師①：沖縄県庁・自然保護課　班長　出井　航 先生
講師②：沖縄科学技術大学院大学　生物多様性・複雑性研究ユニット　研究員　吉村 正志 博士
参加者：14 名

○日　時：平成 29 年 10 月 12 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『ワインの楽しみ方　基本的なことから最新事情まで』
～気軽にワインテイスティング方法を一緒に飲みながら体感しましょう～
講　師：株式会社クラシコ　代表取締役　JSA 認定シニアソムリエ　前森 裕人 先生
参加者：33 名

○日　時：平成 29 年 11 月 9 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『日常疾患に役立つ漢方薬』
講　師：東北大学大学院医学系研究科漢方・統合医療学寄附講座　助教　大澤　稔 先生
参加者：85 名
共　催：株式会社ツムラ

○日　時：平成 30 年 1 月 11 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『てんかん専門外来を開設して』
講　師：沖縄赤十字病院　脳神経外科　第一部長　饒波 正博 先生
参加者：16 名

○日　時：平成 30 年 2 月 8 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
演　題：『心血管疾患の便秘との関わり』
講　師：鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科　心臓血管・高血圧内科学 小島 聡子 先生
参加者：26 名
共　催：マイラン EPD 合同会社

○日　時：平成 30 年 3 月 8 日（木）　午後 7 時 30 分～　　於：当会ホール
講演①：『胆道癌の早期診断』
講　師：那覇市立病院　消化器内科　馬渕 仁志 先生
講演②：『GERD と Barrett 食道』
講　師：ハートライフ病院 内視鏡センター　副センター長　仲本　学 先生
参加者：16 名
共　催：武田薬品工業株式会社・大塚製薬株式会社

16. 糖尿病治療検討委員会

糖尿病患者や腎臓病患者の診療連携の構築を目指して、平成20年度に「糖尿病治療検討委員会」を立ち上げて以来、本委員会では会員に対して積極的に情報提供や糖尿病関連の演題会を頻回に開催（年10回）し、糖尿病に関する関心度を高め、医療連携推進、治療内容の標準化に取り組んでいる。

また、演題会に参加した会員を中心に「糖尿病治療医療機関（一次・二次）」を選定し、併せて「腎症治療医療機関」「眼症治療医療機関」名簿を作成している。医療機関選定に当たっては一定の基準を設け選定し、患者紹介の紹介基準を明確に示すことで医師会員全体での糖尿病治療の底上げと向上を図っており、今後も診診連携・病診連携への充実化を目指していく。

同名簿については那覇市側にも提供しており、保健師等が市民向けの個別指導の際に活用されている。

今年度は、「沖縄県歯科医師会」作成のポスター（歯周病と糖尿病のこわい関係）をご恵贈いただき、全会員施設に配布することで「医科と歯科」の連携にも取り組んでいる。

1．糖尿病演題会の開催について

第1回　糖尿病演題会
（共催：第2回　糖尿病チーム医療を考える会“運動療法・新たな一歩
～実際どの様に指導していますか？～”）
開催日時：平成29年6月27日（火）　午後7時～9時
会　　場：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ　6階「王朝」
総合司会：大浜第一病院　糖尿病センター　センター長　高橋　隆 先生
1．パネルディスカッション（19：10～19：50）
（1）『運動し過ぎて体を壊しそうな人をどう抑える？』
大浜第一病院 糖尿病療養指導士 認定理学療法士 主任 久場 美鈴 先生
（2）『運動しない人をどう動かす？』
大浜第一病院 理学療法士 平良 みほ 先生
2．特別講演（19：50～20：40）
演　題：『なぜ糖尿病患者は運動しないのか？』
講　師：順天堂大学院医学研究科 スポートロジーセンター・代謝内分泌内科学
順天堂大学国際教養学部　国際教養学科　准教授　田村 好史 先生
（参加者数：149名）

第2回　糖尿病演題会（基礎講習会）
開催日時：平成29年7月10日（月）　午後7時30分～9時
会　　場：那覇市医師会　4階ホール
座　　長：ながた内科クリニック　長田 光司 先生
1．演　　題：「高齢者糖尿病　～その治療目標と薬剤について～　」
講　　師：大浜第一病院 糖尿病センター センター長　高橋　隆 先生
2．症例検討：「高齢糖尿病患者の症例を中心に」
講　　師：あがりはまクリニック　院長　湧上 民雄 先生
3．質疑応答
（参加者数：45名）

第3回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成29年9月9日（土）　午後6時～7時
会　　場：沖縄県医師会　2階会議室
共　　催：ノボノルディスクファーマ株式会社
座　　長：田仲 秀明 先生（田仲医院）
演　　題：「GLP-1受容体作動薬リラグルチドの早期導入とメトホルミン併用への期待」
講　　師：東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科　准教授　豊田 雅夫 先生
（参加者数：20名）

第４回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成 29 年９月 11 日（月）　午後７時 30 分～９時
会　　場：那覇市医師会　４階ホール
共　　催：ノバルティスファーマ株式会社
座　　長：常任理事　田名　毅　（首里城下町クリニック第一　院長）
演　　題：「どの様な対応を行いますか？　～　血糖高値を初めて指摘された人へ　～」
講　　師：大浜第一病院　糖尿病センター　センター長　高橋　隆 先生
（参加者数：65 名）

第５回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成 29 年 11 月 10 日（金）　午後７時～９時
会　　場：ロワジールホテル那覇　３階天妃の間
共　　催：ノバルティスファーマ株式会社
座　　長：琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）
教授　益崎 裕章 先生
演　　題：「２型糖尿病患者の健康寿命延伸を目指して」
講　　師：国立国際医療研究センター　糖尿病研究センター長　植木 浩二郎 先生
（参加者数：173 名）

第６回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成 29 年 11 月 22 日（水）　午後６時 30 分～８時 10 分
会　　場：大浜第一病院　ふれあいセンター
共　　催：協和発酵キリン株式会社
基調演題（18：40 ～ 19：20）　座長　ながた内科クリニック　院長　長田 光司 先生
【テーマ】「糖尿病性腎症の発症・進展を抑えるために」
演　題①：行政の立場から「那覇市の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実際」
講　　師：那覇市役所 特定健診課 保健師 内嶺 史恵 先生
演　題②：医療機関の立場から「当院における糖尿病性腎症進展予防のための取り組み」
講　　師：大浜第一病院 糖尿病センター 保健師 新垣 朋子 先生
ディスカッション（19：20 ～ 20：00）
司　　会：大浜第一病院　糖尿病センター長　高橋　隆 先生
テ ー マ：「行政と医療機関の連携 in 那覇新都心　～その第１歩を考える～」
（参加者数：36 名）

第７回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成 29 年 11 月 25 日（土）　午後７時～８時 20 分
会　　場：ロワジールホテル那覇　１階あまいろ A
共　　催：サノフィ株式会社
演　題①：「ランタス XR の使用経験」
講　　師：ながた内科クリニック　長田 光司 先生
特別講演：「糖尿病治療と震災（熊本地震）」
講　　師：医療法人社団陣内会 陣内病院　理事長・院長　陣内 秀昭 先生
（参加者数：32 名）

第８回　糖尿病演題会（共催）
開催日時：平成 30 年２月 21 日（水）　午後７時 15 分～９時
会　　場：大浜第一病院　２階　あめくふれあいセンター
共　　催：沖縄県薬剤師会・沖縄県栄養士会・沖縄県看護協会・MSD 株式会社
演　題①：「肥満合併糖尿病患者への看護介入を考える」
講　　師：那覇市立病院　看護部長室　看護師長　玉城 邦子 先生
演　題②：「糖尿病患者における肥満対策」
講　　師：徳山クリニック　栄養支援室　主任　大城 ちか子 先生
演　題③：「糖尿病合併肥満症における内視鏡を用いた外科的療法」
講　　師：大浜第一病院　外科部長　内視鏡外科　肥満外科　稲嶺　進 先生
（参加者数：48 名）

第９回　糖尿病演題会
開催日時：平成 30 年２月 22 日（木）　午後７時 30 分～９時
会　　場：那覇市医師会　４階ホール
座　　長：田名　毅　先生（常任理事 / 首里城下町クリニック第一）
テ ー マ：「糖尿病と運動療法」
演 題 ①：「運動療法について多い誤解　～トレーニングと運動は似て非なるもの～」
講　　師：大浜第一病院 糖尿病センター センター長　高橋　隆 先生
演 題 ②：「どの様に運動療法を行っていますか？」
①運動習慣がない人への指導
②運動習慣がある人への指導
講　　師：大浜第一病院　理学療法士　久場 美鈴 先生
（参加者数：36 名）

第 10 回　糖尿病演題会（共催）
（2018　医師・医療スタッフのための糖尿病セミナー　in　沖縄）
開催日時：平成 30 年３月 11 日（日）　午前 11 時～午後１時
会　　場：沖縄県立博物館・美術館　講座室（１階）
共　　催：沖縄県地域糖尿病療養指導士会・南部地区歯科医師会・沖縄県病院薬剤師会・沖縄県薬剤師会・アステラス製薬株式会社・MSD 株式会社
【第１部】座長　琉球大学大学院 医学研究科 先進ゲノム検査医学講座
教授 前田 士郎 先生
演 題 ①：『経口血糖降下薬の使い方・使われ方　2018』
講　　師：屋宜内科医院　院長　屋宜 宣治 先生
演 題 ②：『糖尿病患者さんへの薬剤師の関わり』
講　　師：中頭病院　薬剤師　宮城 英之 先生
演 題 ③：『糖尿病と歯周病』
講　　師：まきし歯科　院長　真喜志 早江子 先生
【第２部】座長　琉球大学大学院　医学研究科　内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座
教授　益崎 裕章 先生
特別講演：『２型糖尿病における食事療法の新しい視点』
講　　師：聖マリアンナ医科大学　代謝・内分泌内科　教授　田中　逸 先生
（参加者数：130 名）

17. 那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議

平成 21 年度に那覇市の保健師より那覇市 CKD（慢性腎臓病）連絡会設立への協力依頼があり無事立ち上げている。その後、さらに組織強化を目指して基幹病院の那覇市立病院（宮良 忠 先生）や那覇市保健所（仲宗根 正 先生）、協会けんぽ等のご支援を賜り、平成 26 年度に「那覇市 CKD 対策研究会・世話人会」を設立し、透析患者導入率の低減を目指し活動を活性化させてきた。

平成 27 年 10 月には、これらの事業を継承発展させる形で主管が那覇市側に移行し、那覇市側で新たに「CKD（慢性腎臓病）対策」として『那覇市慢性腎臓病（CKD）病診連携事業･開始式』が城間幹子那覇市長と真栄田篤彦那覇市医師会長（当時）によって宣言した。

平成 27 年 11 月には「那覇市 CKD 病診連携推進会議（会長　田名　毅）」も立ち上がり、翌 12 月には「CKD 登録医」の募集案内（48 施設加入を当初目標）が行われ、事業内容説明会を得て、今年度４月より本格的に稼働した。

同事業に那覇市医師会としても積極的に取り組み、那覇市民の健康度向上に寄与していく。

また、市民向けの演題会（企画:那覇市健康増進課、県腎臓病協会）への講師依頼があり、今年度は和氣亨先生（県立南部医療センター・こども医療センター）にて慢性腎臓病予防演題会を２回開催し、約 115 人の那覇市民が聴講している。

那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議を２回開催し、CKD（慢性腎臓病）関連演題会も５回開催した。

「なはCKD48」の登録医は67名、腎臓診療医の登録は39名を数えている。(H30.3月現在)

1．那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議について

（1）平成 29 年度　第 1 回　那覇市 CKD 病診連携推進会議　会次第

日　時：平成 29 年 8 月 17 日（木）19：30 ～ 21：00

場　所：那覇市医師会館 4 階　会員サロン

出席者：田名 毅（会長）・比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・真栄城 修二・友利 博朗
・屋宜 宣治・新城 真紀・仲宗根 正（副会長）　宮城 輝（欠席連絡あり）

事務局：（那覇市）岸本 隆　石川 義子　内嶺 史恵　高良 めぐみ

オブザーバー：新里博一
（那覇市医師会事務局）上地 政昭

協議題：

【報告事項 1 】前回の会議の振り返り

【報告事項 2 】那覇市国保の透析導入数の推移と糖尿病性腎症予防プログラムについて説明
病診連携紹介数の報告
新規の CKD 登録医、腎臓診療医数の報告

【報告事項 3 】視察・見学の報告

◎近江八幡市総合医療センター・腎センターにおける保存期腎不全教育・検査入院について　報告者：内嶺保健師

◎教育入院に関する所感・総括のコメント：宮良先生、比嘉先生

◎ 7 月 12 日　近江八幡地区 CKD 地域連携講演会について報告（資料 6 ）
報告者：仲宗根先生

【報告および検討事項】

1．今後の取り組みについて（資料 7 ）

1 ）9 月 28 日　那覇市医療圏の病診連携・医薬連携講演会の開催

2 ）10 ～ 11 月　CKD 病診連携医療機関を対象にアンケートを実施予定（昨年同様）

3 ）1 ～ 2 月　CKD 登録医・腎臓診療医の更新・新規登録説明会を開催予定
説明会に併せ、昨年度に CKD 登録医より要望のあった「症例検討会」または「症例紹介」を行えないか、検討をお願いします。

4 ）地区別意見交換会について、情報提供（資料 8 ）

2．第 2 回 CKD 病診連携推進会議について（ 5 分）

1 ）日程について：来年 1 月頃を予定

2 ）内容について：①平成 29 年度 CKD 対策関連の報告、② CKD 登録医・腎臓診療医の更新・新規登録説明会の準備および検討、③アンケート等のまとめの報告

3．閉会の挨拶（仲宗根副会長）

（2）平成 29 年度　第 2 回　那覇市 CKD 病診連携推進会議　会次第

日　時：平成 30 年 3 月 10 日（木）18：30 ～ 18：55

場　所：パシフィックホテル沖縄　2 階（マノア）

出席者：比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・真栄城 修二・仲宗根 正（副会長）

事務局：（那覇市）岸本 隆　石川 義子　内嶺 史恵　高良 めぐみ
（那覇市医師会事務局）上地 政昭

協議題：

【確認・承認事項】

1 ）那覇市 CKD 対策推進「CKD 登録医」事業の実施要綱の変更について

2 ）那覇市 CKD 対策推進「腎臓登録医」登録事業の実施要項の変更について

3 ）新規「腎臓診療医」の登録確認について

【報告事項】

1 ）1 月 31 日の症例検討会参加者の反応について

2 ）平成 30 年度 CKD 登録医および腎臓診療医について

【依頼】

1 ）CKD 病診連携推進会議委員の承諾書の提出について

2．CKD（慢性腎臓病）関連演題会

（１）近江八幡地区 CKD（慢性腎臓病）地域連携演題会（～那覇地区 CKD 地域連携から学ぶ～）について

日　　時：平成 29 年 7 月 12 日（水）　於：ホテル・ニューオウミ「おうみ」
特別講演：座長　近江八幡市立総合医療センター　腎臓センター　顧問　八田　告 先生
演　　題：『那覇市の慢性腎臓病（CKD）対策：なは CKD48 』
講　　師：那覇市保健所　参事・医師　仲宗根 正 先生
【パネルディスカッション】
パネラー　①近江八幡市立総合医療センター　腎臓センター　顧問　八田　告 先生
②首里城下町クリニック第二　院長　比嘉　啓 先生
③那覇市立病院　腎臓内科　部長　宮良　忠 先生
④滋賀県東近江健康福祉事務所　地域保健福祉係　係長　田中 佐和子 先生
⑤那覇市　特定健診課　保健師　内嶺 史恵 先生

（２）那覇市医療圏の病診連携・医薬連携講演会

日　　時：平成 29 年 9 月 28 日（木）　19：30 ～ 21：10
会　　場：ザ・ナハテラス　アダン
共　　催：那覇市・協会けんぽ・沖縄県臨床整形外科医会・那覇市医師会・那覇地区薬剤師会・帝人ファーマ株式会社
協　　力：那覇市 CKD 病診連携推進会議
参加者数：80 名（内訳：医師‥34 名 / 薬剤師‥33 名 / 那覇市等‥13 名）
＜式次第＞
ご 挨 拶：那覇市長　城間幹子　様
開会の辞：沖縄県臨床整形外科医会　会長　吉川 朝昭 先生
基調講演：「那覇市 CKD48 の活動報告並びに新規登録について
講　　師：那覇市保健所　参事　仲宗根 正 先生
座　　長：那覇市医師会　常任理事　田名　毅 先生
特別講演：「ロコモティブシンドロームと CKD ～腎障害患者における薬物療法の注意点～」
講　　師：名古屋大学大学院　医学系研究科　CKD 先進診療システム学寄付講座
准教授　安田 宣成 先生
座　　長：那覇市医師会　会長　山城 千秋 先生

（３）腎臓診療医との意見交換会および交流会の開催について

日　　時：平成 29 年 11 月 16 日（木）19：30 ～ 21：00
場　　所：那覇市医師会館・4 階ホール
出 席 者：田名 毅（会長）・比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・真栄城 修二・友利 博朗・屋宜 宣治・宮城 輝・新城 真紀・仲宗根 正（副会長）
事 務 局：（那覇市）岸本　隆・石川 義子・内嶺 史恵・高良めぐみ
（那覇市医師会事務局）上地 政昭
開会の挨拶：仲宗根 正 先生（那覇市 CKD 病診連携推進会議　副会長）
＜協議事項＞　進行：田名　毅 先生（那覇市 CKD 病診連携推進会議　会長）
1．【報告事項】
（１）前回の会議の振り返り：議事録より（資料１）
（２）那覇市国保の透析導入数の推移と糖尿病性腎症予防プログラムについて説明（資料２）
（３）病診連携紹介数の報告（資料３）
（４）新規の CKD 登録医、腎臓診療医数の報告（資料４）
（５）視察・見学の報告　（資料５）
①近江八幡市総合医療センター・腎センターにおける保存期腎不全教育・検査入院
・報告書説明：内嶺
・教育入院に関する所感・総括のコメント：宮良先生、比嘉先生
②近江八幡地区 CKD 地域連携講演会（７月 12 日）について報告（資料６）
報告者：仲宗根 正 先生

2.【報告および検討事項】（15分）
（1）今後の取り組みについて（資料7）
①9月28日　那覇市医療圏の病診連携･医薬連携講演会の開催(別紙1の案内参照)
②10～11月　CKD病診連携医療機関を対象にアンケートを実施予定（昨年同様）
③1～2月　CKD登録医・腎臓診療医の更新・新規登録説明会を開催予定
説明会に併せ、昨年度にCKD登録医より要望のあった「症例検討会」または「症例紹介」を行えないか、検討をお願いします。
④地区別意見交換会について、情報提供（資料8）
3. 第2回CKD病診連携推進会議について
（1）日程について：来年1月頃を予定
（2）内容について：①平成29年度CKD対策関連の報告、②CKD登録医・腎臓診療医の更新・新規登録説明会の準備および検討、③アンケート等のまとめの報告
4. 閉会の挨拶（仲宗根副会長）

（4）第1回　CKD症例検討会　及び新規CKD登録医募集説明会（報告）
日　時：平成30年1月31日（水）19：30～21：10
場　所：那覇市医師会館・4階ホール
出席者：33名　（腎臓診療医：8名・CKD登録医：13名・医師：5名・看護師：5名
うるま市役所（保健師）：2名
事務局：(那覇市）岸本 隆・石川 義子・内嶺 史恵・高良 めぐみ
（那覇市医師会）上地 政昭
＜式次第＞　司会進行：内嶺 史恵（CKD48事務局：那覇市特定健診課）
1. 開会の挨拶　那覇市医師会　会長　山城 千秋 先生
2. CKD病診連携事業報告及び新規CKD登録医　募集説明会
内嶺 史恵（CKD48事務局：那覇市特定健診課）
3. CKD症例検討会
座　長：比嘉　啓 先生　　（首里城下町クリニック第二　院長）
演題①：「尿蛋白を意識した降圧治療の実際　～症例をふまえて～」
講　師：田名　毅 先生　　（首里城下町クリニック第一　院長）
演題②：「なはCKD48 』における患者紹介　～腎臓診療医として～」
講　師：真栄城 修二 先生　　（まつおTCクリニック　院長）
演題③：「腎内科医とかかりつけ医とのコラボの提案～最近の2症例から～」
講　師：和氣　亨 先生　　（県立南部医療センター・こども医療センター腎臓内科）
4. 閉会の挨拶　那覇市特定健診課　課長　岸本　隆

（5）那覇市CKD連携講演会
日　時：平成30年3月10日（土）19：00～21：10
場　所：パシフィックホテル沖縄（2階・カネオへ）
出席者：68名（講師含む）
(内訳) 腎臓診療医：10名、CKD登録医：9名、医師：9名、看護師・薬剤師･ME等：28名、行政職10名（事務職・保健師・栄養士など)、その他2名
＜式次第＞
1. ご挨拶：那覇市医師会　会長　山城 千秋 先生
2. 基調講演　　座長　首里城下町クリニック　第二　院長　比嘉　啓 先生
演　題：『 那覇市立病院におけるCKD教育入院の立ち上げに向けて』
講　師：那覇市立病院　腎臓内科　部長　糸数 昌悦 先生
3. 特別講演　　座長　首里城下町クリニック第二　院長　比嘉　啓 先生
演　題：『CKD教育入院と地域連携を成功させるためには』
講　師：近江八幡市立総合医療センター　腎センター　顧問
八田内科医院　理事長・院長　八田　告 先生
4. 閉会の挨拶：那覇市保健所　所長　東　朝幸 先生

18. 腎疾患重症化予防のための戦略的研究（FROM-J）及び
地域特性に応じた慢性腎臓病重症化予防のための生活食事指導法の確立（SOFT-J）

本事業は、厚生労働省、日本腎臓財団が中心となり、地域における慢性腎臓病の啓発活動やかかりつけ医における腎機能検査､尿蛋白検査の再評価によりCKD患者の早期の診断･受療を目指し新規透析導入患者の減少につながる医療政策を見出すことを目的とし、一旦、平成25年度で終了したが、昨年度は追加調査事業として、研究課題名「地域特性に応じた慢性腎臓病重症化予防のための生活食事指導法の確立（SOFT-J)」に先生方のご支援をいただき調査に協力した。

同研究事業は、慢性腎臓病の患者さんがその地域の特性に応じた生活指導、食事指導を受けることにより、腎臓病の重症化を予防する事を目的とし、具体的には、タブレット端末を用いた生活指導、食事指導を受けていただき、その効果を評価することになっており、研究期間は、平成26年8月から平成27年3月で終了したが、引き続き活動は展開されている。

今年度はSOFT-J事業による下記の講演会が開催された。

（1）那覇・浦添・中部地区CKD地域連携講演会
日　時：平成29年7月29日（土）18：00～19：30
場　所：沖縄県医師会館
座　長：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター　腎・リウマチ科
　　部長　和氣　亨 先生
演　題：「今後のCKD対策　～腎不全医療の将来～」
講　師：筑波大学医学医療系腎臓内科学　教授　山縣 邦弘 先生

19. 感染症・予防接種委員会

同委員会は平成24年10月に立ち上げており、同時にメーリングリストを活用した委員間の意見交換や情報提供を頻回に行っている。

1．那覇市実務者会議について

平成26年2月27日には那覇市長に対して「個別予防接種委託料金の値上げ」を陳情したところ、4～5年をかけて他市町村との格差是正に取り組むとの回答をいただいた。

今年度は、那覇市の担当課（健康増進課）が、委託料金の改定（他地区医師会並みの金額設定）については値上げに向けた実施計画に基づいて財政課や企画課と折衝交渉し、前年度比較で概ね「+540円」での回答を得ている。(その後、平成30年2月の議会で了承された。)

委託料単価設定については、徐々に他地区医師会並みに設定されている。

今年度は、那覇市の予算時期（10月）等に「実務者会議」を1回開催した。

第1回　那覇市実務者会議（予防接種部会）
日　時：平成29年10月16日（月）　於：当会・理事会室
(協議事項)
1．平成30年度の各種予防接種「委託料金」について　(那覇市)
2．予防接種時の保護者同伴について　(那覇市医師会)
3．予診票の統一について　(那覇市医師会)
4．医療機関における外国人又は帰国後の者への対応について　(那覇市医師会)
(報告事項)
1．B型肝炎ワクチンの行政措置の終了について（那覇市）
2．各種予防接種の接種率について（那覇市）
3．日本脳炎の自己負担について（那覇市）
4．厚労省の委託事業実施に伴う、定期予防接種実施医療機関名簿の提供について（那覇市）
(周知依頼事項)
1．委託料請求書提出の遅延について（那覇市）
2．接種スケジュール（接種間隔）の遵守等について（那覇市）
(確認事項)
1．次年度の受託医療機関募集の取り纏めについて（那覇市）
2．高齢者インフルエンザ実施の可否について（那覇市）

2．県内での麻疹発生に関する情報提供について
平成 30 年 3 月 23 日に、平成 26 年以来となる麻疹患者が県内で発生し、その後も麻疹患者は増加傾向にあり、急ぎ会員施設に対し「注意喚起」を発信し、その後は逐次、「麻疹発生情報」等を発信した。

20．うつ病対策検討委員会

沖縄県の自殺者は、平成 10 年以降、毎年 300 名を越えるなど今や社会問題となっている。
今年度も沖縄県のうつ病対策事業委託を受けることが確定（7 年目）したことや「うつ病対策」を講じる機運の高まりを感じている。
委員会では『スペシャリスト（多職種）の連携を目指して』を命題に取り組んでいる。
今年度は、児童生徒を取巻く環境の現状把握を試みたいと企画し、スクールカウンセラーの「稲田政久先生（沖縄国際大学　キャンパス相談室 / 臨床心理士）を講師にお迎えし、従来の講演会の参加者と趣の異なる学校保健関係者との連携できる機会を設けることにした。
今年度も好評を博している「ラジオ番組」に出演し、広く電波を活用し「自殺対策」を呼び掛けることができた。さらに同番組に視聴者から寄せられたメールは約 300 通と反響の大きさを感じた次第です。

1．うつ病対策講演会および懇談会の開催について
（1）第 1 回　うつ病対策講演会及び懇談会（～スペシャリストの連携を目指して～）
日　　時：平成 30 年　1 月 23 日（火）　午後 7 時～ 9 時 10 分
会　　場：那覇市医師会・4 階ホール
参加者数：総数：64 名
内訳
①那覇市医師会：25 名　医師：19 名（学校医：10 名）/ 看護師：1 名 / 事務：5 名
②那覇市教育委員会：5 名
③学校関係：26 名　学校長：1 名 / 教諭：2 名 / 養護教諭：16 名 /PTA：3 名
教育相談支援員：1 名 / スクールカウンセラー：3 名
④那覇市保健所：3 名（保健師：3 名）
⑤南部保健所：3 名（保健師：3 名）
⑥県立総合精神保健福祉センター：1 名（保健師：1 名）
⑦他地区医師：1 名
司会進行：玉井　修 先生（副会長 / 曙クリニック）
講　演：『生きづらさを抱えた子ども達の理解と対応について
― 学校・家庭での支援のあり方 ― 』
講　師：稲田 政久 先生（沖縄国際大学　キャンパス相談室　臨床心理士）
懇親会（意見交換会）

2．ラジオ番組にて「自殺対策」を訴える企画について
放送日時：平成 30 年 3 月 28 日（水）　午後 2 時 30 分～ 4 時 30 分
番 組 名：ラジオ沖縄「グートゥーミートゥー
（DJ：モーリー・川満アンリ）」（周波数‥864KHz）
テ ー マ：「こころの健康を保つには　～落ち込んだときの解消法～」
出演時間帯：①午後 3 時 04 分～ 3 時 16 分（約 12 分）
②午後 3 時 43 分～ 3 時 55 分（約 12 分）
※生放送の都合上、時間帯が上下する場合もあります。
出 演 者：①玉井　修　先生（那覇市医師会・副会長 / 曙クリニック）
②稲田 政久 先生（沖縄国際大学　キャンパス相談室　臨床心理士））
番組へのメッセージ宛先：
①ＦＡＸの場合‥098-869-2202
②メールの場合‥chat@rokinawa.co.jp
番組へのメッセージ件数：289 件

21. 会員福祉

（１）第 17 回チャリティー写真展（交通遺児育成資金造成）

例年、会場としていたリウボウホールが店舗に改装されたため利用できなくなり、会場探しに腐心し、リウボウ催事場（６階）や９階の PK ホールで開催するなどの対応をしてきたが、今回もなんとか「那覇市民ギャラリー（パレットくもじ・６階)」を利用することができ無事、開催することができた。

「ナイスタイトル賞」も３回目となり、先生方の出品タイトルも楽しみとなってきた。

期　間：平成 29 年８月 29 日（火）～９月３日（日）（６日間）
時　間：午前 10 時～午後７時（最終日は５時まで）
会　場：那覇市民ギャラリー・第一展示場（パレットくもじ６階）

（１）来場者数 ･････････････････ 478 名(1 日平均：約 80 名)
（２）出品作品数 ･･････････････････ 130 点(出品者数：35 名・出品施設数：24 施設)
（３）販売枚数及び売上金額 ･･ 190,000 円(95 点× 2,000 円)
（４）会場募金箱 ･････････････ 33,278 円(19,011 円 +14,267 円)
（５）募金協力者及び金額 ･･････ 86,000 円
①金城 勇徳 先生　②伊集 守政 先生　③国吉　勲 先生
④宮里 尚義 先生（夫妻）⑤名城 知子 先生　⑥真志取 浩貴 先生
（６）募金合計額（(3+4+5)）････････　309,278 円
（７）寄付金総額（第１回～第 17 回）･･ 4,206,685 円
（８）ナイスタイトル賞　･･　第１位（ 10 票）タイトル：「この人ダリ？」
(安里 良盛 先生 / 安里眼科)

（２）ビアパーティー　IN　ロワジールホテル

日　時：平成 28 年８月 19（土）午後７時～９時 30 分
会　場：ロワジールホテルプールサイド・ビアガーデン
参加者：27 施設、206 名（大人 182 人、子供 24 人）

（３）アットホーム懇親会

日　時：平成 29 年 12 月 14 日（木）午後７時～９時
会　場：ロワジールホテル那覇・天妃の間
参加者：171 名（来賓 19 名、会員 76 名、奥様 33 名、ご家族 43 名）

（４）健康ウォーキング大会の開催

○第 34 回
日　時：平成 29 年 11 月３日（木・文化の日）10 時～ 12 時
会　場：那覇新都心公園・大原っぱ（周回コースを３～４周）
参加者：約 450 名

○第 35 回
日　時：平成 30 年３月 21 日（水・春分の日）10 時～ 12 時
会　場：那覇新都心公園・大原っぱ（周回コースを３～４周）
参加者：約 400 名

II 検診事業

平成 29 年度の検診事業収入は約５億３千万円、対前年度比　+4.6％の結果であった。

那覇市より在宅医療・介護連携推進事業の委託事業がスタートし検診部として新たな組織の構築がスムーズに行う事ができ、在宅医療と介護の情報を集約して必要な人に正確な情報が提供できるように努めてきた。

平成 30 年度の総合検診システムのバージョンアップに向けて、業務の標準化と精度管理・機器管理が必要であり、体制を整えて準備を進めてきた。

検診事業に関しましては、年々収益が増加しており順調に事業が推移しており、平成 29 年度より、久米島町、粟国村、渡名喜村の住民健診・事業所健診がスタートした。

LHR 事業は平成 28 年７月より沖縄県商工労働部より「LHR システムを利用した医療産業活性化の為の基盤構築と応用技術の開発」を目的に一部上場企業である「株式会社エムティー

アイ」とコンソーシアムを組み、前年度に構築した機能の実施運用を目指しテスト運用を開始した。

職員に関しては、広島県福山市医師会との「職員交換研修制度」が２回目を終了し、双方にとって有意義な研修であり今後も福山市医師会をはじめ、人材育成のための研修や看護学校の実習の受け入れなど積極的に推移し、職員のレベルアップに努めた。

1．生産性について

（１）前年度収入の比較（税込）　（単位：千円）

№.	項　　目	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年差	前年比
1	一般健（検）診	218,758	224,165	234,287	243,059	8,772	103.7%
2	人間ドック健（検）診	33,059	33,955	37,257	37,255	△２	99.99%
3	社保成人病健（検）診	110,803	121,776	119,197	125,445	6,248	105.2%
4	受託収入	111,977	115,099	109,930	119,509	9,579	108.7%
5	学童検診	12,343	3,913	4,533	4,306	△ 227	92.9%
6	保険診療	2,740	2,357	2,086	1,429	△ 657	68.5%
	合　　計	489,680	501,265	507,290	531,003	23,713	104.6%

（２）那覇市がん検診等による健診受診者数及び各種健（検）診受診者数　（単位：人）

№.	項　　目		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年差
1	乳がん	会員施設	2,171	2,377	1,999	1,603	△　396
		検診センター内	995	1,015	640	665	25
2	子宮がん	会員施設	3,889	3,901	3,869	3,465	△　404
		検診センター内	636	682	591	487	△　104
3	胃がん	会員施設	1,227	1,226	1,210	1,515	305
		検診センター内	833	869	686	657	△　29
4	大腸がん	会員施設	4,099	4,235	3,855	4,878	1,023
		検診センター内	956	1,043	873	898	25
5	結核・肺がん検診	会員施設	3,152	3,375	3,461	4,550	1.089
		検診センター内	1,032	1,097	905	913	8
6	特定健診	会員施設	22,443	21,714	22,383	24,032	1,649
		検診センター内	1,354	1,248	1,207	1,227	20
7	肝炎ウイルス	会員施設	999	1,030	585	728	143
		検診センター内	150	115	60	254	194
8	学童心臓検診		2,026	1,913	2,697	2,241	△　456
9	小児生活習慣病予防検診		104	91	99	97	△　2
10	保育園検診		8,296	1,380	0	実施なし	
11	事業所検診		22,327	23,300	22,574	23,294	720
12	協会けんぽ		6,462	7,024	6,894	7,472	578
13	人間ドック		944	986	1,046	836	△　210

№.	沖縄県産婦人科医会　共催検診	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年差
1	子宮がん検診（組合・健保等）	3,561	3,436	3,321	3,361	40
2	乳がん検診　（組合・健保等）	2,856	2,792	2,730	2,803	73

2. 生活習慣病検診センター運営委員会

定例で２ヶ月に１回偶数月の第１月曜日に開催。今年度は年間５回開催し、検診センターの運営に関する事項について協議した。主な内容を以下に示す。

（１）第 45 回那覇市医療協議会の協議題について

検診部に関連する協議題を検討し下記の２題を協議事項とした。

①がん健診の有料化について

理由：検診の有料化に伴い特に大腸がんの受診率が低下している。

② LHR 事業について

理由：国保証の QR コードの導入について協議ができればと提案。

（２）「閉経期女性における子宮膣部細胞の成熟度とその要因に関するケースコントロール研究」

琉球大学医学部保健学科形態病理学分野金城貴夫教授より、学生の教育のために当会検査部で５年保存していて破棄する予定のプレパラート（子宮膣部・頸部細胞診標本）を使わして欲しい旨の協力依頼を受けております。

破棄する標本であり、倫理委員会及び個人より同意書を取る必要もないので委員会としては承諾された。

（３）読影医に対する感謝状の贈呈について

これまで胃部読影をお願いしていた新垣武三先生（鏡原外科医院）が体調不良を理由に３月を持って退任されることになった。

また、今年度の眼底検査の読影を頂いていた古謝将昭先生（古謝医院）と昨年度読影を頂いていた新里越郎先生（新里眼科医院）が閉院のため読影委員を退任された。

先生方へのこれまでのご協力に対し感謝状と記念品の贈呈について協議した結果、異議なく了承された。

（４）第 48 回　九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について

開催日提：平成 29 年７月 22 日（土）～ 23 日（日）担当：福岡市医師会

同協議会（検査・検診部門・高齢社会事業部門）に参加する旨の報告がなされた。

（５）広島県福山市医師会との「職員交換研修制度」実施について

昨年度より開始している、福山市医師会との「職員交換研修制度」について今年度も 10 月に交換研修実施の提案がなされ異議なく承認がなされた。

（６）広島大学大学院森山美知子教授の医療費分析に関する研修参加について

以前検診部で森山教授を招聘して講義をして頂いた経緯があり、医療費分析の第一人者としてご活躍しており、検診部職員を８月に医療費分析に関する研修に参加させる提案がなされ異議なく承認がなされた。

（７）ピンクリボン沖縄 in 八重山ついて

平成 29 年９月 10 日（日）石垣市健康福祉センター

石垣市から婦人がん検診（乳がん・子宮がん）について市民向けの啓発活動についての相談を受けており、当会検診センターが９月に２週間実施している石垣市の婦人がん検診の実施と併せてピンクリボン沖縄 in 八重山の開催の提案がなされ、異議なく承認がなされた。

（８）胃部Ｘ線検査に関するカテゴリー分類の採用について

胃部読影判定について、日本消化器がん検診学会から出ているカテゴリー分類判定を用いての判定の提案がなされた。同委員会としては概ね了承してが、同委員の又吉先生及び実際に読影をしている先生方のご意見も伺いながら次年度に向けて準備をしていくことで了承された。

（９）乳房超音波のご高診部位別所見について
当会の乳房超音波結果報告書について、二次検査実施施設より左右の所見で結果が出ているが、二次検査を対応する技師側から具体的に左右のどの場所まで示して欲しいとの要望があり、対応として左右の時計の報告で対応する旨の報告がなされた。
（例：右１時方向に乳腺腫瘤）

（10）対策型乳がん検診における「高濃度乳房」問題の対応に関する提言について
厚労省は、乳がん検診で異常を見つけにくい「高濃度乳腺」と判定された場合、受診者に知らせる体制を整備する方針を決めており、当会検診センターも今現在本人への結果報告がなされておらず、今後受診者に対してどのような対応をしていくかの提案、協議がなされ同委員会としては行政を含めて協議していく旨の方向で了承された。

（11）特定健診を用いた慢性閉塞性肺疾患（COPD）検診の試みについて
特定健診における COPD 早期発見支援システムの提案がなされた。協議の結果同委員会では実施について了承がなされ、今後運用方法等を検討していきながら実施の決定については理事会の承認を得ることで了承された。

（12）共用基準値（血液検査）の変更について
平成 28 年 11 月 7 日の検診センター運営委員会でも協議しており、県内の主要な基幹病院で採用されている JCCLS（共用基準値）について、先日の評議委員会でも了承を得ておりますので来年４月より当会検査部も基準値変更予定の報告がなされた。

（13）医療関係者のためのワクチンガイドラインについて
看護学生が実習に参加する時に、幾つかの予防接種の抗体価を調べてワクチンを接種した場合金額にして 40,000 円～ 50,000 円かかり学生の高額負担が生じている。
「医療関係者のためのワクチンガイドライン」では、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の場合母子手帳より１歳以上で２回の予防接種の記録がある場合は個人と医療機関で記録を保管して終了となるため抗体検査は必要ないと示しており、学生の費用軽減になるのではないかと情報提供がなされた。

（14）がん検診における精度管理調査について
資料に基づいて、がん検診においては、精度管理が重要で、精度管理が適切に行われていなければならない。自治体が実施医療機関の精度管理状況を把握する事がこれまで努力義務でしたが、今年度より義務付けられている。９月下旬には那覇市より精度管理の実施状況についての調査依頼が予定されており、実施医療機関で回答するものと、検診センターで回答するものがあり調査内容を精査して問題がなければ回答を進めて行く旨の提案がなされ了承された。

（15）平成 29 年度日曜会員健診の実施日程について
日曜会員健診について、下記の日程の提案がなされ提案どおりの日程で了承され内視鏡検査の医師につきましては、又吉委員へ人選をお願いすることとした。
①平成 30 年１月 21 日（第３日曜日）
②平成 30 年２月 25 日（第４日曜日）

（16）久米島町の乳がん検診について（要望）
11 月に予定しております、乳がん検診（マンモグラフィ）について、高濃度乳腺の結果を受診者へ返して欲しいと要望があり、協議した結果、今年度の久米島町乳がん検診については、高濃度乳腺のコメントをつけて結果を返すことで了承された。

（17）共用基準値（血液検査）の変更について
４月より検診システムの変更に伴い、JCCLS（共用基準値）の採用が同委員会、評議委員会で了承を受けており変更について改めて了承がなされた。また、これまで判定区分において S（指導）の判定があったが、今後は、C（経過観察・生活改善）へ変更の報告がなされ了承された。

（18）会員健診のあり方について

医師国保の案内文書の発送について、これまで医師国保加入のＡ会員（235名）に発送しているが、医師国保で受診されていた先生方が後期高齢になられた場合は引続き案内文書の発送、また希望される先生方にも同様に発送する提案がなされ了承された。

また、後期高齢の先生方の受診について、毎年約20名の受診があり医師国保の補助はないが、後期高齢の先生方には無料で受診をしている状況が報告され、今後は後期高齢の受診券の持参の案内、回収（特定健診＋がん検診の受診券がある場合17,500円）を徹底することで了承がなされた。

（19）与那原町における婦人検診について

与那原町婦人検診は、毎年10月、11月の年２回集団検診を実施。

数年前より近隣施設との個別検診を実施しており年々受診者が減少し、与那原町役場へ受診者増強の申入れを行っているが、視触診廃止と２年に１回の検診となったため減少傾向を止めるには至らなかった。次年度の検診実施について協議した結果、集団検診を希望している受診者がいることから、次年度も受託することとしたが、実施については年１回とすることとした。

（20）高濃度乳腺の結果報告について

那覇市の乳がん検診において、平成30年度は「高濃度乳腺」の通知を体制を整えて行う予定のため、今後検討を進める報告がなされたが、当会検診センターで実施した乳がん検診については久米島町の報告同様に受診者へ「高濃度乳腺」の報告をすることで了承がなされた。

（21）平成30年度の事業計画（案）及び予算（案）について

（１）平成30年度　事業計画（案）について

平成30年度より総合健診システムのバージョンアップに向けて構築を進めており業務の効率化と標準化が必要であり、体制を整えていきたい旨を報告し資料に基づいて、平成29年度から那覇市より受託を受けた「ちゅいーしーじー那覇」が開設され、今年度は作業部会において那覇市の医療・介護の課題解決に取組み在宅医療の普及啓発を充実させて行く。

健康診断業務においては、常に受診者の満足度を念頭において受診環境の充実と同時にスタッフの接遇の向上はもとより、安定した収入を確保し収支バランスの取れた財務運営に取り組んで行く。人材育成においては、これまで通り職員研修や職員交換研修などで積極的推進し施設のレベルアップに努める旨を報告した。

（２）平成29年度　補正予算（案）及び平成30年度　予算（案）について

資料に基づき補正予算（案）及び予算（案）を概ね下記のように報告した。

（平成29年度補正予算）

平成29年度の検診事業の補正予算は、当初予算から大きく変わる点として、退職金の支払いがある為、退職給付引当資産の取崩しを行い、補正予算で計上している。次に次年度で経費計上する予定であった次期システム関連は、システムサーバーを事前にデータ移行に伴い、帳票類の変更が発生するので印刷製本費を経費増で計上している。

健康診断事業収入は予算通りの見込みとなってり、受託検診収入では当初予算より増収となる旨の報告がなされた。

補正後の当期収支差額は478万円となり、前期繰越収支差額をあわせて次期繰越収支差額は１億90千万となる旨の報告がなされた。

資料に基づき補正予算（案）及び予算（案）を概ね下記のように報告した。

（平成30年度予算）

平成30年度から新検診システムへ移行され、また引続き那覇市より在宅に関する事業や沖縄県よりLHR事業が補助金の元で実施する。

平成30年度の事業活動収入は６億６千430万円を見込んでおり、そのうち健診収入は５億３千600万円を見込んでいる。

平成30年度の予算は、予備費500万円を含め収支差額▲309万円となり前期繰越収支差額は９千881万円となる旨の報告がなされた。

3. 生活習慣病検診センター読影委員会

【胃部読影委員会】30 名
玻座真博明、又吉亮二、友寄英毅、中山良有、金城治、大城義人、平良朝秀、大城淳
金城幸博、我喜屋出、大見洋二、高里良孝、岸本幸治、前田企能、仲吉朝史、古謝将常
山城雄二、佐久川紀彦、宮城剛、島袋隆志、長嶺信夫、川上祐子、宮城聡、大城勝
仲地紀茂、玉井修、上原剛、白井和美、宮城政剛、森田光

【眼底検査読影委員】8 名
大城隆、金城恵美子、新垣均、新屋雄二、外間英之、石川修作、久志雅和、名城知子

【マンモグラフィ読影委員会】15 名
屋良勲、大城淳、鎌田義彦、大嶺靖、金城治、高良光雄、長嶺信治、国仲弘一、上原協
白石牧子、宮城淳、佐久本哲男、新里仁哲、玉城研太朗、大城義人

【乳腺エコー検査読影委員】2 名
上原協、玉城研太朗

【心エコー検査読影委員】1 名
大城康彦

【肺がん検査読影委員】6 名
喜屋武邦雄、豊田和正、兼島洋、久手堅憲史、東正人、嘉数光一郎

4. 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

平成 29 年 4 月より那覇市から下記の委託内容を受け那覇市在宅医療・介護連携事業を開始した。

（ア）地域の医療・介護の資源の把握
（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援
（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援
（カ）医療・介護関係者の研修
（キ）地域住民への普及啓発
（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

今年度は、特に在宅医療の介護の実態と課題を明らかにすることに重点を置き遂行した。また、那覇市の医療と介護の在宅医療と介護の円滑な連携を目的とした研修会や講演会、市民を対象としたフォーラム等を開催した。

（１）那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会及び作業部会

平成 29 年那覇市在宅医療・介護連携推進事業の開始に伴い、平成 25 年 11 月に発足した那覇市在宅ケアネット世話人会に新たな職能団体の代表者を加え「那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会」を設置した。

また、重点的に取り組む課題に対して、3 つの作業部会を発足した。

・那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会（第 1 回～第 8 回）
・作業部会（全体として第 1 回）

（２）那覇市在宅療養支援診療所連絡会と大症例検討会（在宅医療推進のための勉強会）

在宅療養の核となる在宅療養支援診療所による那覇市在宅療養支援診療所連絡会を約 2 ヶ月に 1 度の割合で在宅医療に関する問題点について協議した。

・那覇市在宅療養支援診療所連絡会（第 33 回～第 38 回）

また、その中で在宅医療推進の為の勉強会を企画し、在宅療養支援診療所連絡会のメンバー等が講師や症例発表者となり、実地に即した勉強会を開催した。大症例検討会「こんな時どうしますか？ーより良い在宅医療を目指してー」と題して在宅医療に関わる先生方から症例・事例を提示頂き、その問題に関して在宅医同士や医師と他職種のディスカッションを行った。また、在宅医療を始めていない先生方へご参加いただくことで在宅医の増強を図った。

司会進行・座長：嘉数朗（おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長）

回	開催日	講師・テーマ	参加数
1	平成 29 年 4 月 20 日	①ライフケアクリニック那覇 院長 長嶺勝（医師） 『突発性拡張型心筋症 在宅療養⇔入院となった一例について』 ②そらクリニック 院長 甲口知也 『繰り返す心不全増悪に対する対応をどうしますか？』	51 名
2	6 月 15 日	①ゆずりは訪問診療所 院長 屋宜亮平（医師）『体重減少』 ②那覇民主診療所 所長 嘉陽信子（医師） 『自宅で看取ることになった 102 歳の女性』	61 名
3	8 月 17 日	①ウィル訪問看護ステーション豊見城 所長 山川将人（看護師） 『在独居での看取りケース～家族ケアも含めた看護ケア』 ②おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長 嘉数朗（医師） 『挙棋不定』	52 名
4	10 月 19 日	①訪問看護ステーションぴたさぽ 小西貴（理学療法士） 『すくみ足に対する理学療法 (訪問リハ) の挑戦』 ②きなクリニック 院長 喜納美津男（医師） 『ある看取りの症例』	38 名
5	12 月 7 日	①在宅ケアセンターしだかじ 城間ゆかり（主任介護専門員） 『多職種の連携の先に見えるもの～利用者の想いを 1 つの物語につなぐために～』 ②そらクリニック 院長 甲口知也（医師） 『終末期に不安言動のみられたがん患者さんの経過について』	40 名
6	平成 30 年 2 月 23 日	①沖縄アカデミー専門学校 濱川亜季（介護福祉学科 専任教員） 『自分らしく過ごす支援』 ②はいさいクリニック 院長 石田吉樹（医師） 『80 歳代前半　女性　＃右頸部巨大腫瘍』	28 名

（３）在宅医・訪問看護師・介護支援専門員の意見交換会「顔合わせ会」

今年度は、多職種連携研修会として多職種によるグループワークを開催し、在宅医療に関わる先生方も多数参加された。

司会進行・座長：嘉数朗（おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長）

回	日時	テーマ	参加数
1	平成 29 年 5 月 19 日	看取りについて	63 名
2	7 月 21 日	食べられなくなったら	36 名
3	9 月 15 日	認知症	35 名
4	11 月 17 日	切れ目のない連携	24 名
5	平成 30 年 1 月 12 日	看取りについて	20 名
6	3 月 16 日	認知症連携	23 名

（4）那覇市在宅ケアネット大懇親会
日　時：平 29 年 11 月 25 日（土）　午後 7 時～午後 10 時
場　所：ライブスポット アパッチ
在宅医療・介護に携わる多職種が一堂に会し懇親を深めることを目的に那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会にて計画し開催した。今回で 4 回目となり会を重ねるごとに参加者が増え大盛況であった。

（5）第 1 回 在宅医療普及啓発 市民フォーラム
日　時：平成 30 年 3 月 11 日（日）　14：00 ～
場　所：てぃるる
テーマ：「最期まで地域で自分らしく生きるために～在宅医療 20 年間の経験から～
講　師：泰川恵吾（ドクターゴン診療所　院長）
参加者：100 名

（6）認定審査会への委員派遣について
平成 12 年 4 月から「介護保険制度」が開始したのを受けて会員の協力により「那覇市」と「南部広域」の 2 つの介護認定審査会に委員を派遣している。ご多忙にも関わらず出務いただいている先生方に深く感謝申し上げます。

【那覇市介護認定審査会】任期：平成 29 年 4 月～ 30 年 3 月（ 13 名）
佐久本哲男・平良憲一・金城幸博・山代　寛・門馬康二・国吉純郎・玉城清嗣
山口正幸・新垣安男・金井　透・上間　一・砂川憲政

【南部広域介護認定審査会】任期：平成 29 年 4 月～ 30 年 3 月（ 1 名）
国吉 和秀

（7）障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定審査会の審査医派遣について
平成 18 年 4 月 1 日より「障害者自立支援法」が施行され同制度発足に伴い「那覇市障害者介護給付費等審査会」が設立された。平成 29 年度は、3 名の先生方に審査医としてご協力いただいている。
山根邦夫・国吉 勲・国吉和秀

（8）那覇市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会審査部会の委員及び嘱託医の推薦について
那覇市より、平成 25 年度の中核市移行に伴い、身体障害者手帳の認定業務を行うことから標記審査部会（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、肝臓機能障害）の委員及び嘱託医の推薦を行い、平成 29 年度は、7 名の先生方にご協力いただいている。
山口健・石川秀夫・仲地紀之・知花幹雄・真栄城修二・久手堅憲史・仲宗根和則

5. 那覇地域産業保健センターの活動について

（１）運営協議会の開催

第１回　平成 29 年８月 16 日（水）

○主な議題及び検討課題：①平成 28 年度活動報告・29 年度計画
②平成 29 年４月～７月期間事業実績

第２回　平成 30 年２月 21 日（水）

○主な議題及び検討課題：①平成 29 年４月～１月期間事業実績
②平成 30 年度活動計画

（２）活動内容及び実績

○相談担当医師及び保健師の人数：（医師２人延べ 159 人）（保健師３人延べ 231 人）

○主な相談内容

①健康診断結果に基づく医師からの意見聴取

・労働安全衛生法に定められている健康診断で、異常の所見があった労働者に関して、その健康を保持するために必要な措置について事業主（衛生担当者）へ意見を述べる。

意見聴取計画　60 事業所　600 名　　実績　61 事業所　850 名

②脳・心臓疾患リスクが高い労働者に対する保健指導

・労働安全衛生法に定められている健康診断の結果、「血中脂質検査」「血圧の検査」「血糖検査」「尿中の糖の検査」「心電図検査」の項目に異常の所見があった労働者に対し、医師または保健師が日常生活面での指導や健康管理に関する情報を提供した。

健診結果に基づく相談：訪問（医師）計画 15 回：150 名　・実績 17 回：116 名
特定健康相談：院内（保健師）計画 230 回：600 名　・実績　219 回：649 名
〃　〃　：訪問（保健師）計画　22 回：200 名　・実績　　12 回：71 名

③メンタル不調の労働者に対する相談・指導

・メンタル不調を感じている労働者に対し、医師または保健師による相談・指導を行った。

メンタル相談（医師）　計画　15 回　：15 名　・実績　19 回：20 名

・高ストレス者面接指導　計画　　５回　：　５名　・実績　　２回：　２名

昨年度スタートしたストレスチェック制度における高ストレス者への面接指導を 50 人未満の事業所でも実施している。次年度は更に面接希望者が増える見込み。

④長時間労働者に対する面接指導

・時間外労働が長時間に及ぶ労働者に対し、疲労の蓄積状況の確認など医師による面接指導を行った。

長時間労働面接指導：院内　計画 50 回：60 名　・実績 57 回：76 名
〃　　〃　　：訪問　計画　５回：70 名　・実績　３回：54 名
長時間労働者内訳　：100 時間以上　86 名　100 時間未満　44 名
建設業関係と運輸業の長時間が増加している。

（３）コーディネーター活動（専従者１名）

○活動延日数：233 日

○主な活動内容

・利用申込みに対する説明　200 回
・相談担当医師等と事業場との連絡調整　180 件
・嘱託産業医紹介　（相談総件数　19 件　内契約件数　11 件）
・久米島長時間面接指導　開催１回　相談者　33 名
・労働基準協会主催　安全衛生大会等において広報活動及び保健師による健康相談開催４回

※義務化された今でもストレスチェック制度をどのように進めたらよいのか解らないとの相談も 24 事業所対応した（うち４事業所は 50 人未満）

6. LHR 事業

平成 28 年 7 月より沖縄県商工労働部より「LHR システムを利用した医療産業活性化の為の基盤構築と応用技術の開発」を目的に「沖縄県医療産業競争力強化事業補助金」として 3 年間の新たな補助金事業が開始され、東京に本社があり一部上場企業である「株式会社エムティーアイ」とコンソーシアムを組み、LHR システムの機能拡充を図るため新たな事業が開始された。

事業 2 年目である H29 年度は、前年度に構築した機能の実運用を目指しテスト運用を開始した。

【平成 29 年度の主な活動について】

①連携機能の充実 1（ヘルスケアアプリの連携）

平成 28 年度で実施した LHR システムと株式会社エムティーアイの有するヘルスケアアプリの「CARADA」のインターフェイス開発および実運用試験の結果を踏まえ、機能改修と正式サービス開始に向け実施し、AppStore 及び Google Play のマーケット上に「沖縄県 LHR 向け CARADA」としてアプリを掲載し正式サービスを開始した。平成 29 年度の実績として沖縄県 LHR 向け CARADA 利用者数は 302 名であった。

②連携機能の充実 2（サービスソリューションの連携）

株式会社エムティーアイが有するサービスソリューションである「MY 栄養コーチ」と LHR システムを連携し、県内の栄養士を雇用し栄養指導の運用テストを実施した。

また、栄養指導前に対象者の健康への関心度の向上を目的としたイベント施策を企画､実行し､平成 29 年度の MY 栄養コーチによる栄養指導者数(実績)は 65 名であった。

③保険者機能の開発

平成 29 年度で保険者・被保険者が利用する「未受診者検出・消込機能の開発」「検診受診者リスティング機能開発」を行い保険者機能の充実を図った。

また、久米島町での実運用を昨年度に引き続き行い、また、他市町村へ機能説明を行い営業活動も展開している。

④大手病院とデータ連携

平成 29 年度では「沖縄赤十字病院」とのデータ連携を進め、課題の克服等を含め準備を整えている。

⑤沖縄バイオインフォメーションバンクとの連携

琉球大学で進めている「沖縄バイオインフォメーションバンク」との連携では、LHR 利用者よりゲノム生体試料（血液サンプル）を提供していただくことを前提に、当会検診センターの施設内の受診者および久米島町住民検診受診者に LHR の参加とゲノム生体試料提供の参加同意を同時に進め、平成 29 年度の新規 LHR 参加利用者は約 3,500 人で登録総人数は約 11,500 人となった。

Ⅲ 検査事業

1. 新管理基準書に基づく品質マネジメント体制強化

（1）品質マニュアルを適用した検査部運用の定着

①品質マニュアルに則った運用の定着化は完了、更に品質マニュアルを基に精度向上を目指す。

②検査過誤の要因分析・防止策を実践してきたことが大きな過誤防止に繋がった。今後は、ヒヤリハット事例を元に要因分析と防止策を立案することで過誤の起こさない体制を構築する。

③検査室単位の適正な業務量、適正人員の確保による環境整備課題については、中央検査部門で適正な人員確保が十分に出来ていないため、継続的な課題とする。

（2）高品質なマネジメント体制を強化する。

①マネージメントシステムの定着に向け社内外の定期的なミーティングを介し、マネージメントシステムの構築は完了した。今後も継続的な内部監査を実施し、高品質なマネージメント体制を維持して行く。

②自己セルフチェックを実施したが、不適合部分の是正確認までには至らなかった。慢性的な人材不足が重なり、人的な改善は依然として途上であり、個人レベルの技術向上活動は未達成のため、継続的な課題とする。
③精度管理委員会を毎月開催し各工程の不適合部分の改善について是正を行い、PDCAサイクルにて検証を実施。進捗状況としては多くの運用改善に繋がった。継続的に実施して行く。

2. 人材育成の強化

（1）中央検査室5分野（生化学、血液、免疫、輸血、一般）のスキルアップによる技師のマルチ化は、人材交代等の要因もあり十分とは言えない状況である。業務を遂行するためのローテションが実践できる教育までとなった。今後も継続的なスキルのマルチ化を図って行く。
（2）細菌検査の人材育成の見直し、早期育成・早期業務安定稼動を目指したが、人員確保に苦慮した。人員の配置は遅くなったが計画的に育成を実施している。
（3）学会･社内講習会･勉強会等を活用した検査スキルを高める教育研修の推進については、検査部内の勉強会を定期的に実施し出来ている。今後は、外部講演会や研修会への積極的な参加を推奨して行く。

3. 検査部運営管理

（1）顧客訪問活動を活発に行ったが、経営安定化までは至っていない。
（2）原価低減活動による効果としては、血液検査部門の機器変更、試薬購入ルート変更で効果が得られた。
（3）検査室単位の製造原価の見直し、分野単位の継続的な原価低減を進めているが完了まで至っていないため、継続的に実施する。
（4）検査部収支

収入実績（平成29年度）　　単位（千円）

分 野	平成28年度	平成29年度	前年度差	前年比（%）
生化学	101,610	105,166	3,556	103.5
血液	35,985	37,985	2,000	103.9
免疫・血清	90,504	90,107	- 325	99.6
尿・糞便	14,540	7,679	- 6,861	52.8
病理	30,270	23,309	- 6,961	77.0
細胞診	42,215	41,740	- 475	98.9
細菌	97,444	99,686	2,242	102.3
特殊	141,297	147,904	6,607	104.7
他	856	1,114	258	130.1
計	554,721	554,762	41	100.0

4. 渉外機能の強化

（1）新規顧客の集荷回収時間と既存顧客の集荷回収時間の調整を行い、顧客要望を重視した集荷体制を実施している。
（2）各種健診事業に対する検査部の対応については、検診部と連携した活動を継続し実施している。
（3）新規顧客契約数は7施設であった。
（4）IT支援室による各種システム対応が可能となり、業者調整、電子カルテのマスターメンテナンス、内部の各検査部署とシステム連携が出来ている。

Ⅳ 看護学校

平成 29 年度は、学年運営・カリキュラム運営の要となる外部講師及び実習病院並びに実習指導者との連携強化を図った。また在学中に学士（教養）のために放送大学との連携協力締結を行った。

また、従来の専任教員の資質向上、教育環境整備、学生徒支援、広報活動、地域との連携を強化した。

1. 各種委員会開催状況

（1）那覇看護専門学校運営委員会

看護学校運営委員会を 3 回開催し、学校運営に関する重要な学則および規程の変更、予算・決算等について審議した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協　議　事　項
1	H29. 5.23（水）	1. 平成 28 年度事業報告書（案）について 2. 平成 28 年度決算報告（案）について 3. 平成 30 年度入学生からの学納金の金額設定について 4. 看護学校の将来を考える会の今後のスケジュールについて
2	H29.10.30（月）	1. 実習施設の追加申請について（平成 30 年度実習計画について） 2. 平成 30 年度の教員体制について 3. 平成 29 年度予算外備品及び設備整備について
3	H30. 2.14（水）	1. 平成 29 年度補正収支予算（案）について 2. 平成 30 年度事業計画書 (案) について 3. 平成 30 年度収支予算 (案) について 4. 平成 30 年度の職員体制について（教職員の採用） 5. 放送大学との連携協定について 6. 平成 31 年度学納金値上げについて 7. 平成 31 年度入学選抜試験について

（2）入学卒業等認定委員会

入学卒業等認定委員会を 4 回開催し、学生募集、進級判定等について審議した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協　議　事　項
1	H29. 6.28（火）	1. 平成 29 年度入学卒業等認定委員会計画 2. 平成 30 年度入学者選抜試験実施計画について 3. 平成 30 年度入学問題作成計画について 4. 平成 30 年度の学生募集要項 (推薦入学試験時の注意事項) の訂正について
2	H29.10.18（水）	1. 平成 30 年度推薦入学者選抜試験合否判定
3	H29.11.29（水）	1. 平成 30 年度前期入学者選抜試験合否判定
4	H30. 2. 7（水）	1. 平成 30 年度後期入学者選抜試験合否判定 2. 平成 29 年度卒業生の卒業判定・表彰者の選定 3. 平成 31 年度入学選抜試験に日程について

（3）学校評価委員会

学校評価委員会を 2 回開催した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協　議　事　項
1	H29. 5.23（水）	1. 平成 29 年度評価委員会計画検討
2	H30. 2.14（木）	1. 研究に関する倫理審査

（４）業務会

担当理事及び副担当理事を中心に、那覇看護専門学校運営委員会（小委員会含む）、入学卒業等認定委員会・学校評価委員会等の事前調整や、その他運営上必要な事項等の調整を毎月１回開催した。

2. 看護師の養成と資質の向上

（１）平成 29 年度看護学科の入学生募集には、那覇市をはじめ他地区市町村及び近隣の県立高校から多数の応募があった。

看護学科	１学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者(予定)	競 争 率
	120	492 (111)	468 (104)	140 (23)	126 (20)	3.34 倍

※合格者数は辞退者分も含め、繰上げ合格者は含めていません。　　（　）男子再掲

（２）平成 30 年３月２日に平成 29 年度卒業式（看護学科第７回）を行い、看護学科 125 名の卒業生を送り出した。（看護学科（３年課程）卒業生総数：630 名）

（３）第 107 回看護師国家試験合格者は 122 名の合格者（97.6%）であった。

3. 職員の資質の向上対策

各種研修会・講習会へ積極的に参加し、専任教員並びに事務職員の資質向上、教育の指導能力の充実に努めた。

（１）教員研修状況は次のとおりである。

県外

年月日	研修会名	会場	参加数
H29.4.16	看護師国家試験分析レポート＆受験指導対策セミナー(2017・春)	福岡	2
H29.7.29　～ H29.7.30	協同による活動性の高い授業づくりの具体的手法	東京	1
H29.8.24　～ H29.8.26	第 29 回　日本看護学校協議会　学会	東京	5
H29.9.23	脳の解剖生理（３Ｄ映像で脳の立体構造も理解できる！）	福岡	2
H29.9.30　～ H29.10.1	これからの在宅看護の教授ポイント～新出題基準を踏まえた講義の構築と演習・実習の実際～	大阪	1
H29.9.15　～ H29.9.16	看護学校で求められる管理者の役割・人材育成・組織運営法	東京	1
H29.10.3　～ H29.10.4	日本看護学校協議会平成 29 年度事務担当者	東京	1
H29.10.28	家族看護の理解を育む教え方	東京	1
H29.10.29	これからの在宅看護の教授ポイント～新出題基準を踏まえた講義の構築と演習・実習の実際～	東京	1
H29.11.6	専門職大学等の制度化に関する説明会	東京	2
H29.11.18 ～ H29.11.19	発達障害・精神疾患と思われる学生・スタッフに対する理解と接し方	東京	2
H29.12.9	ケアの意味を見つめる事例研究セミナー	東京	1
H29.12.11 ～ H29.12.12	最新の乳がん治療とセクシャリティにかかわる乳がん看護	兵庫	1
H29.12.18 ～ H29.12.19	平成 29 年度副学校長・教務主任会	東京	2
H30.3.21	学ぶ側の「主体性」「満足度」「理解力」を引き上げる講義テクニック	福岡	1

H30.3.25　～ H30.3.26	①学生が育つ授業の進め方＆クラス運営　②看護師国試合格率が高まる年間計画立案・指導案	大阪	1
H30.3.25	老年看護学における臨地実習・学内演習・講義の仕掛け	福岡	1
H30.3.30　～ H30.3.31	向精神薬の知識と服薬援助講習会～地域支援ネットワークケアサポート～	大阪	1

県外研修　計　27

臨地研修　事前研修

年月日	研修会名	会場	参加数
H29.4.26	臨地研修　事前研修　豊見城中央病院	県内	1
H29.5.2	臨地研修　事前研修　沖縄協同病院	県内	1
H29.5.9	臨地研修　事前研修　豊見城中央病院	県内	1
H29.5.10	臨地研修　事前研修　オリブ山病院	県内	1
H29.5.11	臨地研修　事前研修　おもろまちメディカルセンター	県内	1
H29.5.12	臨地研修　事前研修　沖縄協同病院	県内	1
H29.8.16	臨地研修　事前研修　沖縄病院	県内	2

臨地研修　事前研修　計　8

県内

年月日	研修会名	会場	参加数
H29.4.15	生き生きと自信を持って学生を支援する実習指導者会	沖縄	7
H29.5.1　～ H29.12.22	沖縄県専任教員養成講習会	沖縄	3
H29.6.26	沖縄県専任教員養成講習会　国際看護・災害看護	沖縄	1
H29.7.8	平成 29 年度　障がい平等研修	沖縄	1
H29.7.22	沖縄県教育協議会 再教育研修「看護学生の主体性を育む協同学習」	沖縄	3
H29.8.12	平成 29 年　沖縄の看護実践力を育む会「思考力を伸ばす指導法」	沖縄	3
H29.8.17　～ H29.8.18	日本看護学校教育学会　第 27 回学術大会	沖縄	14
H29.10.2	おもと会沖縄看護専門学校　老年看護学シミュレーション校内実習参観	沖縄	3
H29.11.11	紙屋克子ナーシングバイオメカニクスに基づく生活支援技術セミナー～基礎編～	沖縄	3
H29.12.23	平成 29 年　沖縄の看護実践力を育む会「思考力を伸ばす指導法Ⅱ」	沖縄	2
H29.12.26	沖縄県教育協議会 再教育研修「看護学生の主体性を育む協同学習」	沖縄	16
H30.1.8	看護学研究指導方法論	沖縄	2
H30.2.22	シミュレーション教育の効果を高める　ファシリテーター Skills&Trips	沖縄	4
H30.3.24	草柳かほる先生による看護教員として働くわたしのキャリア～組織人として自分らしく成長するために～	沖縄	22
H30.3.27	緒方巧先生による協同学習による授業展開	沖縄	22

県内研修　計　106

（２）学会等で発表した教育研究の内容は次のとおりである。
１題「看護師養成所におけるプレスクールを体験した推薦入学者の学習意欲の変化」
～ ARCS 動機づけモデルを活用したアンケート調査より～
日本看護学校協議会学会発表（静岡）発表：平田勝己
２題「課題発見と目標達成に向けた臨地実習評価を導入して（１）
～導入１年目の学生の受け止めを調査して～
日本看護学校協議会学会発表（静岡）発表：金城真理子
３題「看護過程の講義・演習を臨地実習につなぐ授業方法の有用性」
～実習終了後の学生の所管から～
日本看護学教育学会第 27 回学術集会（沖縄）　発表：惠和枝
４題「精神科実習における思考と行動がみえにくい学生への関わり」
日本看護学教育学会第 27 回学術集会（沖縄）　発表：玉城律子

4．臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保

（１）実習開始前の指導者説明会調整会議をはじめ、実習指導者会を定期的に開催することによって実習指導者との連携を保持し、実習施設の積極的な協力により目的を達成することが出来た。

実習施設（109 施設）は次のとおりである。

科　目　名	実 習 施 設 名
基礎看護学実習	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院 医療法人　祥杏会　おもろまちメディカルセンター 社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院 医療法人　和の会　与那原中央病院 社会医療法人　友愛会　南部病院 医療法人　沖縄徳洲会　南部徳洲会病院 地方独立行政法人　那覇市立病院 国立病院機構　沖縄病院
成人看護学実習	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院 医療法人　祥杏会　おもろまちメディカルセンター 社会医療法人 仁愛会　浦添総合病院 社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院 医療法人　和の会　与那原中央病院 社会医療法人　友愛会　南部病院 医療法人　沖縄徳洲会　南部徳洲会病院 医療法人　以和貴会　西崎病院 沖縄医療生活協同組合　とよみ生協病院 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 地方独立行政法人　那覇市立病院 健診センター（13 か所）
老年看護学実習	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院 医療法人　祥杏会　おもろまちメディカルセンター 医療法人　沖縄徳洲会　南部徳洲会病院 社会医療法人　友愛会　介護老人保健施設「友愛園」 沖縄医療生活協同組合　介護老人保健施設「かりゆしの里」 医療法人　天仁会　介護老人保健施設「パークヒル天久」 医療法人　以和貴会　介護老人保健施設「サクラビア」 社会医療法人　仁愛会　介護老人保健施設「アルカディア」 特定医療法人　葦の会　介護老人保健施設「オリブ園」 医療法人　愛和会　介護老人保健施設「池田苑」 医療法人　おもと会　介護老人保健施設「ぎのわんおもと園」

科　目　名	実 習 施 設 名
老年看護学実習	医療法人　おもと会　介護老人保健施設「はまゆう」 社会福祉法人　那覇市社会福祉協議会（金城老人憩いの家、那覇市小禄老人福祉センター那覇市識名老人福祉センター） 社会福祉法人　陽風会（那覇市末吉老人福祉センター、那覇市壺川老人福祉センター） 日本赤十字社沖縄県支部　日赤安謝福祉複合施設　老人憩いの家 社会福祉法人　糸満市社会福祉協議会　糸満市社会福祉センター 宜野湾市伊野原老人福祉センター、宜野湾市赤道老人福祉センター
小児看護学実習	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 沖縄赤十字病院 社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院 医療方障害児入所施設　沖縄南部療育センター 那覇市立保育園（12 か所）
母性看護学実習	医療法人　がじまるの会　糸数病院 社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院 沖縄赤十字病院 医療法人社団はなの会　たから産婦人科 医療法人　沖縄徳洲会　南部徳洲会病院 助産院（アーシャ助産院、波の上スイミングスクール、母子未来センター、結、きらきら、） 子育て支援センター （てぃんさぐの家、ぬくぬく、ほるとの家、南風、ふれんど、ぽかぽか、まかべ、柿の家ひろば、沖縄 CAP センター）
精神看護学実習	特定医療法人　葦の会　オリブ山病院 医療法人　へいあん　平安病院 医療法人　天仁会　天久台病院
在宅看護論実習	生協総合ケアセンター　訪問看護ステーション　にじ 医療法人　おもと会　訪問看護ステーション　おもととよみの杜 医療法人　おもと会　訪問看護ステーション　かみはら 社会福祉法人　ゆうなの会　大名訪問看護ステーション 医療法人　愛和会　訪問看護ステーション 和 社会医療法人　友愛会　訪問看護ステーション 株式会社　訪問看護ステーション　リズム 医療法人　卯の会　新垣病院　地域医療部 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 訪問看護ステーション いこい 株式会社　絆グループ　きずな訪問看護ステーション 株式会社　タモト　ふたば訪問看護ステーション 医療法人　エイチ・エス・アール　浦添訪問看護ステーション伊祖 合同会社　大愛　訪問看護ステーション いのり 株式会社　さわふじ　訪問看護ステーションさわふじ 株式会社　志情　しなさき訪問看護ステーション 株式会社　K’s　訪問看護ステーションひなた 医療法人 沖縄徳洲会　グループホームひめゆり 社会福祉法人　愛和会　グループホーム　さわふじ 社会福祉法人　喜寿会　グループホーム　美ら里さしき 社会福祉法人　まつみ会　グループホーム　こもれび 株式会社　ふれあい介護センター　グループホーム　ふれあい楚辺

科　目　名	実 習 施 設 名
在宅看護論実習	社会福祉法人　千寿会　グループホーム　寿 有限会社　ヘルスサポート　グループホーム　若狭の家 有限会社　豊　グループホーム　光風の家 有限会社　フレンドリーあい和　グループホームビボあいわ 社会福祉法人　トゥムヌイ福祉会　障害者就労支援施設　イノ― 社会福祉法人　トゥムヌイ福祉会　障害者就労支援施設　エール 社会福祉法人 トゥムヌイ福祉会児童発達支援放課後等デイサービス はばたき教室 社会福祉法人 とよみ福祉会 障害者福祉サービス事業所 ひまわりファクトリー 社会福祉法人　まつみ会　就労移行支援事業所ゲラジョブセンター 認定 NPO 法人　沖縄県難病相談・支援センター　アンビシャス 特定非営利活動法人 ドリームサポートたんぽぽ たんぽぽ福祉作業所 NPO 法人　障がい者支援センター　ぴゅあ
統合実習	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院 医療法人　祥杏会　おもろまちメディカルセンター 社会医療法人　仁愛会　浦添総合病院 社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院 医療法人　和の会　与那原中央病院 社会医療法人　友愛会　南部病院 医療法人　沖縄徳洲会　南部徳洲会病院

（２）学則の教育課程に示された学内講義は、県内大学、中南部所在病院の先生方のご協力により、教育の目的を達成できた。

①専任教員（非常勤含む）　23 名（3300 時間）
　非常勤講師　　379 名（4810 時間）
②特記事項
　3 年生においては、卒業前に現場で新人看護師の陥りやすい問題と、優先順位・報告・連絡・相談の重要性について体験学習する機会を作った。そのねらいは、基礎教育と臨床現場との乖離を少なくすること、入職後の現場への適応を支援することである。

（３）「ユニフィケーションシステム」
　実習施設と学校との教育連携を強化する「ユニフィケーションシステム」は、非常勤講師派遣・看護技術教育へのティーチングアシスタント（T・A）派遣等、年々充実し教育目標達成に貢献していただいている。
　「ユニフィケーションシステム実施要領」に基づき、平成 29 年度のまとめの会議を開催し、各実習施設の教育総括者、外来講師、T・A 及び実習指導者に参加いただき、学内実習 T･A 導入の評価及び意見交換を行い、授業を受け持った方へは証明書を交付し各施設での個人評価に繋がるようにした。

＊ティーチングアシスタント（T・A）派遣延べ人数：9 施設 197 名
　沖縄協同病院、おもろまちメディカルセンター、沖縄赤十字病院、那覇市立病院、豊見城中央病院、南部病院、南部徳洲会病院、与那原中央病院、浦添総合病院

＊ティーチングアシスタントを導入した看護技術項目（5 領域、全 15 技術項目）
　1）基礎看護学：①実習前バイタルサイン技術　②移動・移送技術
　　③清拭・寝衣交換　④陰部洗浄・おむつ交換　⑤実習前技術確認
　　⑥導尿　⑦筋肉注射　⑧採血　⑨吸引
　2）成人看護学：①糖尿病を患っている対象のアセスメント
　　②インシュリン注射・血糖測定
　　③胃切除術後の離床の支援　④フットケア

３）臨床看護の校内実践：①実習前技術確認（バイタルサイン・陰部洗浄・吸引・フィジカルアセスメント・車いす移乗）　②卒業前技術トレーニング（タスクトレーニング）　③卒業前多重課題
４）母性看護学：①実習前沐浴技術確認
５）小児看護学：①小児バイタルサイン測定

5. 教育環境の整備

（１）看護師等養成所教育環境整備事業にてプロジェクター、小児看護学領域のシミュレーター等の備品整備を行った。
（２）２か所の教室等のクーラー及び体育館の換気扇が設置から 24 年経過し修理（代替部品なし）が出来ないため新規整備を行い、講堂・視聴覚教室のテレビモニターを新調した。
（３）後援会総会で保護者から自己学習の環境を良くするためにも学内 Wi-Fi の要望があり整備した。
（４）学生の心のケアを目的としてカウンセラーを配置し、月１回の相談カウンセリングを行っているが、直接面談を固辞する学生へはメールでの対応も行っている。
（５）学生が主体となり運営する行事として、学校祭、オープンキャンパス、開校記念スポーツ大会、１年生親睦レクを計画し、社会性、自主性、協調性、指導力等を育てることができた。
（６）推薦入試（社会人推薦は任意）合格者は、入学までの５カ月の待機期間を過ごすことになるため、計４回のプレスクールを実施し、看護学校での学びの実際を知る機会、学習モチベーションの維持を図った。
（７）放送大学との以下の３点に関する連携協力の覚書締結を行い、入学生及び在校生へ説明会を開催した。
①希望する学生が那覇看護専門学校卒業時、放送大学全科履修生として３年次に編入学する編入学型方式
②希望する学生が那覇看護専門学校在学中に放送大学の単位を併修し、那覇看護専門学校卒業時に放送大学全科履修生として３年次に編入学する編入学型方式
③希望する学生が那覇看護専門学校入学と同時に放送大学全科履修生として入学するダブルスクール方式

6. 対外広報・地域との連携

（１）ブログにて学校の様子をより分かり易く公開しているため、特に受験生等から好評を得た。
（２）県内看護専門学校の合同進学説明会を開催する他、進学業者が主催する就職ガイダンスや進路ガイダンスに積極的に参加すると共に、入学希望者確保のために沖縄本島内の高等学校は元より、先島地方の高校へも直接出向き案内を行った。
（３）高等学校や中学校からの思春期教育に関する指導の依頼がある場合も、積極的に応じ、学校の紹介も同時におこなっている。
（４）学校見学会やオープンキャンパス、学校祭を通して、看護及び看護教育への理解と将来の職業選択の動機付けとすることが出来た。
（５）行政等の連携で「平成 29 年度豊見城市観光人材育成講座」を学生が受講し、３名が医療中国語１級の一次試験を合格、２名が中国語検定３級を合格することが出来た。
（６）その他、那覇空港救難訓練、実習施設をはじめ多くの施設からボランティア依頼があり、多くの学生がボランティアとして社会貢献し、学校の広報に繋がった。

7. 後援会及び同窓会活動の支援及び里帰りトレーニングの実施

後援会からは、学生の教科外活動への助成や看護師国家試験対策費用や、感性豊かな学生になるための芸術鑑賞への支援、学校祭を始め、サークル活動、または入学式・宣誓式、卒業式等の学生ボランティアへの飲み物代等、学生生活や学習活動に直接的に必要な環境整備等の援助をいただく事務的支援を行った。

同窓会は、スキルアップする方法などを卒業生に講和をお願いし、学校祭時にも個別相談コーナーを設ける等、後援会同様に教科外活動への支援をうけているための事務的支援を行った。

また、夏休みには、卒業後約５カ月が経過した卒業生を、おきなわクリニカルシミュレーションセンターにて参集してもらい、「里帰りトレーニング」と名づけ、入職施設における新人教育を修了し、独り立ちが求められる時期であることから、看護師としての自らの実践力に向きあうが、程度の差はあるが不安や焦燥感を抱き、仕事を継続できるか悩み落ち込むことが多いため、現場を離れ、級友と語り、現時点で修得を望む技術をシミュレーションで学び、デブリーフィングを行うことは、「クリティカルシンキングの大切さ」「やればできる自己肯定感」を再確認する機会となった。

V 各種会議状況

1. 第 45 回那覇市医療協議会

構成団体：那覇市・南部地区歯科医師会・那覇市医師会
日　　時：5 月 18 日（木）
場　　所：那覇市保健所　３階大会議室

担当部会	協 議 事 項	議題提出機関
学童検診部会	①学校における「がん教育」へのかかわりについて ②耳鼻科専門医検診について ③学校健診の歯科医師個人ならびに病院負担軽減について ④多数歯におよぶむし歯を保有する児童に対する学校・行政・歯科医院の協力関係の構築について	那覇市医師会 那覇市医師会 南部地区歯科医師会 南部地区歯科医師会
予防接種部会	①日本脳炎ワクチン接種、自己負担について ②予防接種後の副反応について ③ MR ワクチン接種の啓蒙活動について ④ MR 接種率向上に向けた連携について ⑤(意見交換)今後のワクチン委託料金の値上げについて	那覇市医師会 那覇市医師会 那覇市医師会 那覇市健康増進課 那覇市医師会
救急医療部会	①在宅療養における救急搬送の情報提供について ②(情報交換)①救急出場の現状と転院搬送の抑制について ③(情報交換)②外国人傷病者の対応について	那覇市医師会 消防局救急課 消防局救急課
保健部会	①総合事業における医師の関わり及び医療機関向け説明資料の配布について ②高齢者施設における感染症対策の状況について ③企業健診の普及促進を通して明るい健康寿命を ④かかりつけ医からの生保健診の受診勧奨について	那覇市医師会 那覇市医師会 南部地区歯科医師会 健康部保健増進課
健(検)診部会	①特定健康診査事業推進にあたっての課題等の意見交換について ②２歳児歯科健診及び妊婦歯科健診について ③がん検診有料化に伴う質問 ④コール・リコール(未受診者への個別勧奨と再勧奨)事業の実施に向けて ⑤乳がん検診に関する精度管理とピンクリボン運動に関する協力依頼 ⑥エコー検査を実施するにあたって ⑦那覇市国保証への LHRID 印字による運用について	那覇市医師会 南部地区歯科医師会 那覇市医師会 那覇市健康増進課 那覇市医師会 那覇市健康増進課 那覇市医師会

2. 第54回九州首市医師会連絡協議会

担　当：福岡市医師会
日　時：平成29年9月30日（土）・10月1日（日）
場　所：ホテルニューオータニ佐賀
出席者：山城千秋・玉井　修・田名　毅・白井和美・喜納美津男・糸数功・真志取浩貴・外間英之・長嶺　勝・長嶺信治・玉城研太朗

全体討議（9月30日）

担	テーマ	発表者	
全体討議前半	在宅医療に関する相談窓口(在宅医療・介護連携支援センター)の設置・運営状況と機能・課題について	那覇市医師会	長崎市医師会
	在宅患者急変時受け入れ体制・代診医制、主治医副主治医制等の在宅医をサポートするシステムがあれば、その成功事例と課題について	大分市医師会	鹿児島市医師会
	医療と介護の連携における各医師会の状況や成功事例について	宮崎市郡医師会	福岡市医師会
	市町村との連携の実績とその効果について	長崎市行政	佐賀市行政
	認知症対策について	熊本市医師会	下関市医師会
全体討議後半	「地域包括ケアシステム(在宅医療)の推進状況と問題点」 シンポジウム ・熊本市医師会　理事　野津原　昭 ・下関市医師会　理事　飴山　晶 ・宮崎市郡医師会　理事　牛谷　義秀 ・那覇市医師会　理事　喜納美津男 ・大分市医師会　理事　細川　隆文 ・長崎市医師会　副会長　藤井　卓 ・長崎市医師会　理事　松﨑　純宏 ・鹿児島市医師会　理事　長友　医継 ・福岡市医師会　常任理事　菊池　仁志 ・宮崎市健康管理部医療介護連携課長　川上　善弘 ・大分市福祉事務所次長兼長寿福祉課長　後藤　剛 ・長崎市福祉部政策監　山口　伸一 ・鹿児島市すこやか長寿部長寿あんしん課長　新小田 美郎 ・福岡市保健福祉局健康医療部地域医療課長　佐伯　俊資 ・佐賀市保健福祉部高齢福祉課長　江藤　健司		

特別講演（10月1日）

【基調講演】 「これからの日本の医療と地域医師会への期待」 日本医師会　常任理事　今村 定臣 先生	【文化講演】 「種痘の伝搬過程－佐賀藩から九州の諸地域へ－」 佐賀大学地域学歴史文化研究センター 特命教授　青木 歳幸 氏

3. 第 59 回地区医師会連絡協議会（担当　宮古地区医師会）

日　時：平成 30 年 1 月 20 日（土）　午前 6 時受付開始
場　所：ホテルブルーズベイマリーナ
次　第
（1）開会の辞・・・・・・・・・・宮古地区医師会　副会長　下地 輝子
（2）担当地区医師会会長挨拶・・宮古地区医師会　会　長　竹井　太
（3）宮古地区における特定健診時の AUDIT 調査報告
・・・・・・宮古地区医師会　副会長　岸本 邦弘
（4）協議題
①「宮古・八重山地域における糖尿病医療提供体制の充実に向けて」
・・・・・・南部地区医師会
②「各地区の個別予防接種の単価設定について」
・・・・・・中部地区医師会
（5）沖縄県医師会長挨拶及びコメント・・・・・　会　長　安里 哲好
（6）次回担当地区医師会長挨拶・南部地区医師会　会　長　名嘉 勝男
（7）閉会の辞・・・・・・・・・・宮古地区医師会　副会長　岸本 邦弘

『親睦ゴルフコンペ』
日　時：平成 30 年 1 月 21 日（日）
場　所：エメラルドコーストゴルフリンクス

理事会及び評議員会記録（平成29年度）

理　事　会

第24回理事会
〔平成29年4月14日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 平成29年度行事日程の確認について
   ・ビアパーティー・アットホーム懇親会、写真展
3. 那覇市医療協議会の議題（参加者）について
4. 那覇市総合計画審議会委員の就任について
5. 医師初期臨床研修にかかる研修管理委員への就任について
6. 平成28年度　事業報告書・決算書作成及び定期総会までの日程表（案）

【報告事項】
1. 県医師会報告
   第1回、第2回　理事会報告
2. 那覇市医師会委員会報告
   (1) 第4回　生活習慣病検診センター運営委員会
   (2) 第36回　在宅ケアネット世話人会
3. 学術・生涯教育講演会
4. なはCKD48の動向について
5. 那覇市医師会　病診連携懇親会について

第25回理事会
〔平成29年5月12日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 第1回地区医師会長会議の開催について
3. 第54回九州首市医師会連絡協議会について
4. 数学・科学技術推進協会　講演会について
   「不思議な数学の世界へようこそ」

【報告事項】
1. 県医師会報告
   第3・4・5回　理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 那覇市在宅療養支援診療所連絡会
   (2) 第4回　広報委員会
3. 第2回　学術・生涯教育講演会

第26回理事会
〔平成29年5月26日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 第54回九州首市医師会連絡協議会について
3. 琉球新報社の新社屋（H30年完成予定）に向けて
   （チャリティー写真展実行委員会より）

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第6回・第7回理事会報告
   (2) 第1回地区医師会長会議
2. 那覇市医師会委員会
   (1) チャリティー写真展実行委員会
   (2) 第2回病診連携委員会
3. 学童定期健康診断前講習会

第27回理事会
〔平成29年6月9日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向（会費減免に係る確認事項）
2. 那覇市医師会　医業支援事業（案）について
3. 倫理委員会の設置について
4. 平成28年度事業報告書（案）について
5. 第33回　那覇マラソン救護所への医師・看護師派遣について
6. 医療の適切な利用に関する普及啓発事業実行委員会について

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第8回・第9回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会

(1) 第4回　看護学校運営委員会
(2) 第4回　生活習慣病検診センター運営委員会
3. 第13回　那覇市医師会『病診連携懇親会』
4. 沖縄周産期ネットワーク協議会「第23回　周産期症例検討会」
5. 学術・生涯教育講演会
6. 内科会より救急搬送について

第28回理事会

〔平成29年6月23日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 第54回九州首市医師会連絡協議会

【報告事項】

1. 県医師会報告
   (1) 第10回・第11回理事会報告
   (2) 第1回　南部地区地域医療対策会議
2. 那覇市医師会　医業支援事業について
3. 平成29年度第1回かかりつけ医等心の健康対応力向上企画委員会について
4. 第25回　在宅医療推進の為の勉強会
5. 第34回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
6. チャリティー写真展（作品出品状況）について

【懇談事項】

1. エホバの証人の対応について

第29回理事会

〔平成29年7月14日（金）〕

【協議事項】

1. 那覇市保健所からのお願い事項
2. 会員動向(会費減免申請者に係る確認事項)
3. 第1回沖縄県医師会地域医療委員会の開催について

【報告事項】

1. 県医師会報告
   (1) 第12・13・14回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 第1回　入学卒業等認定委員会
3. 医業支援システム進捗状況について
4. 学童定期健診後アンケート結果
5. 第1・2回　糖尿病講演会
6. 検査部学術講演会
7. 学術・生涯教育講演会
8. 第59回　地区医師会連絡協議会開催日時
9. 職員夏季賞与について

【懇談事項】

1. 8月11日（金：山の日）理事会について
2. 8月度評議員会の休会について

第30回理事会

〔平成29年7月28日（金）〕

【協議事項】

1. 第54回　九州首市医師会の協議事項（回答）について
2. 南部地区医師会との意見交換会の日程について
3. 会員からの後援依頼について

【報告事項】

1. 県医師会報告
   (1) 第15・16回理事会報告
   (2) 平成29年度　第1回地域医療委員会
2. 在宅医療・介護連携推進事業　第2回意見交換会
3. 学術・夏休み特別講演会

【懇談事項】

1. 医療機関の継承について

第31回理事会

〔平成29年8月25日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 健康ウォーキング大会の日程について
   予定候補日を①11月3日(金･文化の日)
   ②11月23日（木・勤労感謝の日）
3. 外国人観光客患者受入対応問題検討プロ

ジェクト委員会委員の就任依頼並びに第1回プロジェクト委員会（10/2）の開催について
4. 南部地区医師会との意見交換会について
5. 日医より臨床研究等ICT基盤構築研究事業におけるデータ収集のお願い（依頼）

【報告事項】
1. 県医師会報告
(1) 第17・18・19・20回理事会報告
2. 各種委員会
(1) 第5回　広報委員会
3. 平成29年度　沖縄周産期ネットワーク協議会・定期総会議事録
4. 医療支援報告について
5. 学術・生涯教育講演会
6. チャリティー写真展について
7. ピア・パーティーinロワジール報告
8. 平成29年度在宅医療・介護連携推進事業　第3回大症例検討会

第32回理事会
〔平成29年9月8日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. タイムス社主催「ゆいゆいシニアフェア2017」における福祉関係展示会への出展のご案内について
3. 日本心理教室・家族教室ネットワーク第21回研究集会沖縄大会の後援について
4. 第41回那覇市社会福祉大会開催に伴う協賛方について（ご依頼）
5. 第29回　社会福祉協議会チャリティゴルフ大会ご協力について

【報告事項】
1. 県医師会報告（8/22～開催なし）
2. 各種委員会
(1) 第6回　生活習慣病検診センター運営委員会
3. 第17回チャリティー写真展
4. 第4回　那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
5. 第35回　那覇市在宅支援診療所連絡会

第33回理事会
〔平成29年10月13日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. アットホーム懇親会・招待者、余興について
3. 平成29年度　うつ病に対する医療等の支援体制強化事業
4. 「2017年健康祭」における協賛依頼について
5. 喘息・COPD診療に関する病診連携のアンケート協力願い
6. 第59回地区医師会連絡協議会の協議題募集について
7.「平成29年度　第1回　がんフォーラム」後援のお願い
8. 協賛のお願い「第3回那覇こども大綱挽きまつり」
9. 那覇市医師会　案内板について

【報告事項】
1. 県医師会報告
(1) 第21・22・23・24・25回理事会報告
(2) 外国人観光客受入対応問題検討プロジェクト委員会
2. 第3・4回糖尿病講演会
3. OIST見学ツアー
4. 在宅医療推進の為の勉強会
5. 在宅医療・介護連携推進事業「第3回意見交換会」
6. 学術・生涯教育講演会（ヒアリ（火蟻）の生態について）
7. 文化・芸術講演会（ワインの楽しみ方について）

【懇談事項】
1. 沖縄県医師会広報委員会よりエホバの証人に関する記事について

理　事　会

第 34 回理事会
〔平成 29 年 10 月 27 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 第 3 回　久米島デジタルヘルス事業コンソーシアム会議について
3. 講演会告知のお願いについて

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第 26 回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 第 7 回　生活習慣病検診センター運営委員会
   (2) 第 2 回　入学卒業認定委員会
3. 第 1 回　予防接種実務者会議
4. 第 5 回　那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
5. 在宅医療・介護連携推進事業　第 4 回大症例検討会

第 35 回理事会
〔平成 29 年 11 月 10 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 第 59 回地区医師会連絡協議会について

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第 27 回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 第 2 回　那覇看護専門学校運営委員会
   (2) 第 6 回　広報委員会
3. 第 36 回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
4. 平成 29 年度在宅医療・介護連携推進事業「アドバンス･ケア･プランニングとエンド･オブ・ライフ・コミュニケーション研修会」
5. 学術・生涯教育
6. 第 34 回　健康ウォーキング大会

第 36 回理事会
〔平成 29 年 11 月 24 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向
2. 生涯教育特別講演開催のお願い
3. 地区医師会医療保険担当理事連絡協議会の開催について
4. 手術標本パラフィンブロックからの染色標本作成（薄切スライド）についてのご協力依頼
5. 糖尿病性腎症重症化予防における市町村担当糖尿病専門医の推薦について
6. 平成 29 年　職員冬期賞与について

【報告事項】
1. 県医師会報告
   第 28・29・30 回　理事会報告
2. 第 5 回　糖尿病講演会
3. 那覇市がん検診実務者会議

第 37 回理事会
〔平成 29 年 12 月 8 日（金）〕

7：30 ～新垣淑豊　那覇市議との意見交換

【協議事項】
1. 会員動向
2. 第 35 回ウォーキング大会の日程について（3/21・水・春分の日）
3. 後援願いについて
4. 職員冬季賞与について

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第 31 回　理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 平成 29 年度　第 3 回入学卒業等認定委員会
3. 第 4 回　在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
4. 第 6・7 回　糖尿病講演会
5. 「第 24 回　周産期症例検討会」
6. 那覇市航空機事故対処部分訓練（11/30）

理　事　会

【医師連盟】
1. 次期県知事選挙における対応について
   7：30 ～新垣淑豊　那覇市議との意見交換

第 38 回理事会
〔平成 30 年 1 月 12 日（金）〕

【協議事項】
1. 会費の減免について
2. 世界腎臓デー　沖縄地区講演会（後援依頼）
3. おきなわ津梁ネットワーク運営実行委員会委員の就任（推薦）依頼について
4. 平成 29 年度補正予算、平成 30 年度事業計画及び予算編成日程表（案）

【報告事項】
1. 第 32・33・34 回　理事会報告
2. 那覇市医師会委員会
   (1) 第 1 回　看護学校の将来を考える会
3. 平成 29 年度在宅医療・介護連携推進事業ケアマネジャー事例検討会
4. アットホーム懇親会

【懇談事項】
1. LHR 事業について

第 39 回理事会
〔平成 30 年 1 月 26 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向（会費減免申請者に係る確認事項）
2. カンボジア学校検診における那覇市医師会の後援について

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第 35 回理事会報告
   (2) 第 2 回外国人観光客患者受入対応問題検討プロジェクト委員会
2. 第 8 回那覇市在宅医療･介護連携支援ネットワーク協議会
3. 第 5 回在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
4. 学術・生涯教育講演会
5. うつ病対策強化事業（講演会）
6. 平成 29 年度第 2 回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会に係る委員の派遣について（依頼）

第 40 回理事会
〔平成 30 年 2 月 9 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向（会費減免申請者に係る確認事項）

【報告事項】
1. 那覇市医師会委員会報告
   (1) 広報委員会
   (2) 入学卒業等認定委員会
2. 平成 29 年度　那覇市 CKD 病診連携連携事業
   「第 1 回　CKD 症例検討会及び新規 CKD 登録医募集説明会」
3. 第 10 回学術・生涯教育講演会

第 41 回理事会
〔平成 30 年 2 月 23 日（金）〕

【協議事項】
1. 会員動向（会費減免申請者に係る確認事項）
2. 特別障害者手当等認定診断書審査事務委託医師の派遣協力について
3. 身体障害者手帳交付認定嘱託医の派遣協力について
4. 「社会福祉活動資金づくり・第 44 回芸能の夕べ」公演へのご協力方について
5. 平成 30 年度事業計画（案）

【報告事項】
1. 県医師会報告
   (1) 第 37・38・39 回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会報告
   (1) 第 8 回　生活習慣病検診センター運営委員会
   (2) 第 3 回　那覇看護専門学校運営委員会
   (3) 第 3 回　病診連携委員会
3. 第 8・9 回糖尿病講演会

理　事　会

第 42 回理事会

〔平成 30 年 3 月 9 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 沖縄県医師会代議員の選出方について
3. 介護給付費審査委員会委員の選任依頼について

【報告事項】

1. 県医師会報告
   (1) 第 40・41 回理事会報告
2. 那覇市医師会委員会報告
   (1) 第 1 回　学校保健運営委員会
3. 沖縄周産期ネットワーク協議会・第 2 回役員会
4. 第 11 回　学術・生涯教育講演会

【懇談事項】

1. 那覇看護専門学校　卒業式　3月2日(金)

第 43 回理事会

〔平成 30 年 3 月 23 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 平成 30 年度　那覇地区学校保健会の理事推薦について

【報告事項】

1. 県医師会報告
   (1) 第 42 回理事会報告
2. 第 38 回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
3. 第 6 回　大症例検討会
4. 第 6 回　在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
5. 第 10 回　糖尿病講演会（共催）
6. 那覇市 CKD 連携講演会
7. 那覇市・沖縄県医師会の紹介
8. ウォーキング大会について（3/21・水祝日）参加者 400 名

【看護学校】

1. 放送大学との連携協力締結式について

【懇談事項】

1. 日本製薬工業協会（製薬協）からの協力願いについて
2. 那覇市医師会ホームページサーバーについて
3. 山中伸弥教授　IPS シンポジウムの開催について
   (2019. 3.24　パシフックホテル)

評　議　員　会

4月度評議員会　議事録

〔平成29年4月24日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1) 氏　　名：砂川　長彦（スナガワ　オサヒコ）
生年月日：昭和35年12月9日
施 設 名：沖縄赤十字病院
会員区分：那医B・県医C
入会月日：平成29年4月1日
診療科目：循環器内科
出 身 校：鳥取大学医学部
班　　名：与儀班

(2) 異動会員

1) 氏　　名：石川　秀夫(イシカワ　ヒデオ)
施 設 名：医）ジェイティエヌ
石川眼科医院
異動理由：FAX番号変更
(FAX 098-995-7755)
異動月日：平成29年3月29日
班　　名：開南班

(3) 退会会員

1) 氏　　名：知花　朝美(チバナ　トモミ)
施 設 名：沖縄赤十字病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成29年3月31日
班　　名：与儀班

2) 氏　　名：屋良　勲（ヤラ　イサオ）
施 設 名：社会保険診療報酬支払基金
沖縄県支部
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成29年3月31日
班　　名：与儀班

3) 氏　　名：嘉陽　宗光(カヨウ　ムネミツ)
施 設 名：医）めぐみ 那覇眼科医院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成29年3月31日
班　　名：開南班

4) 氏　　名：小野　武（オノ　タケシ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成29年3月31日
班　　名：与儀班

5) 氏　　名：長谷川　千穂(ハセガワ　チホ)
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成29年3月31日
班　　名：与儀班

2．第4回生活習慣病検診センター運営委員会

3．第36回那覇市在宅ケアネット世話人会

4．第3回　学校保健運営委員会

5．那覇市医師会病診連携懇親会について

6．学術・生涯教育講演会

7．第10回　禁煙推進パレード（3/12･日）

8．検査基準値の変更について

5月度評議員会　議事録

〔平成29年5月22日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1) 氏　　名：伊佐　智博(イサ　トモヒロ)
生年月日：昭和43年2月4日
施 設 名：沖縄赤十字病院
会員区分：那医B・県医C・日医B
入会月日：平成29年4月1日
診療科目：整形外科
出 身 校：熊本大学医学部
班　　名：与儀班

2) 氏　　名：徳嶺　辰彦(トクミネ　タツヒコ)
生年月日：昭和43年3月20日
施 設 名：医）おもと会
大浜第一病院 天久の杜
会員区分：那医B・県医B・日医B
入会月日：平成29年4月1日
診療科目：婦人科
出 身 校：自治医科大学医学部
班　　名：崇元寺班

3) 氏　　名：金城　勤也(キンジョウ　キンヤ)
生年月日：昭和44年11月14日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医B・県医B・日医B
入会月日：平成29年4月1日
診療科目：小児科
出 身 校：長崎大学医学部
班　　名：与儀班

4) 氏　　名：石井　隆弘(イシイ　タカヒロ)
再入会

評　議　員　会

生年月日：昭和 51 年 7 月 20 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：内科・感染症内科
出 身 校：秋田大学医学部
班　　名：与儀班

5) 氏　　名：長間　将樹(ナガマ　マサキ)
生年月日：昭和 53 年 3 月 30 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：救急科
出 身 校：旭川医科大学医学部
班　　名：与儀班

6) 氏　　名：澤紙　秀太（タクシ　ヒデタ）
再入会
生年月日：昭和 53 年 9 月 5 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：循環器内科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

7) 氏　　名：酒井　一徳(サカイ　カズノリ)
生年月日：昭和 58 年 6 月 2 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：小児科・アレルギー科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

8) 氏　　名：金城　よしの(キンジョウ　ヨシノ)
再入会
生年月日：昭和 59 年 8 月 31 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：神経内科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

9) 氏　　名：玉城　由佳理（タマキ　ユカリ）
生年月日：昭和 63 年 10 月 2 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：放射線科
出 身 校：長崎大学医学部
班　　名：与儀班

10) 氏　　名：豊里　一郎(トヨサト　イチロウ)
生年月日：昭和 33 年 11 月 2 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

11) 氏　　名：亀山　泰樹(カメヤマ　ヤスキ)
生年月日：昭和 61 年 7 月 5 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：金沢大学医学部
班　　名：与儀班

12) 氏　　名：知念　央恵(チネン　ヒサエ)
生年月日：平成 2 年 4 月 3 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：福岡大学医学部
班　　名：与儀班

13) 氏　　名：大城　綾乃(オオシロ　アヤノ)
生年月日：平成 2 年 6 月 22 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：九州大学医学部
班　　名：与儀班

14) 氏　　名：佐藤　亜美（サトウ　アミ）
生年月日：平成 3 年 12 月 17 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：札幌医科大学医学部

班　　名：与儀班
15）氏　　名：中村　一希(ナカムラ　カズキ)
生年月日：平成 4 年 10 月 28 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 C・日医 C
入会月日：平成 29 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

(2) 異動会員

1）氏　　名：辻田　敏（ツジタ　サトシ）
施 設 名：辻田労働衛生コンサルタント
産業医事務所
異動理由：施設所在地変更（移転）・電話番号変更
住　　所：那覇市久茂地 1-1-1
パレットくもじ 9F
BA レンタルオフィス内
電話番号：098-917-4504
異動月日：平成 29 年 4 月 20 日
班　　名：牧志班

2）氏　　名：国吉　純郎(クニヨシ　スミオ)
施 設 名：医）禄寿会
介護老人保健施設　禄寿園
異動理由：施設異動（小禄病院より異動）・会員区分変更（管理者交代）
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
異動月日：平成 29 年 5 月 1 日
班　　名：小禄班

3）氏　　名：島袋　正夫(シマブクロ　マサオ)
施 設 名：自宅会員
異動理由：現住所変更（転居）
異動月日：平成 29 年 5 月 1 日
班　　名：与儀班

(3) 退会会員

1）氏　　名：宮城　勇（ミヤギ　イサム）
施 設 名：自宅会員
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 29 年 3 月 31 日
班　　名：開南班

2）氏　　名：長島　勇子(ナガシマ　ユウコ)
施 設 名：九州郵政健康管理センター
那覇分室
退会理由：その他
退会月日：平成 29 年 3 月 31 日
班　　名：開南班

3）氏　　名：横山　永子(ヨコヤマ　エイコ)
施 設 名：自宅会員
退会理由：県外転居
退会月日：平成 29 年 4 月 30 日
班　　名：崇元寺班

4）氏　　名：徳田　章哲(トクダ　アキフミ)
施 設 名：医）禄寿会
介護老人保健施設　禄寿園
退会理由：退職
退会月日：平成 29 年 4 月 30 日
班　　名：小禄班

2．那覇市医師会委員会報告
3．学術・生涯教育講演会
4．第 4 回　広報委員会
5．数学・科学技術推進協会の講演会について
6．病診連携懇親会の開催について
7．学校定期健康診断の実施について

6 月度評議員会　議事録

〔平成 29 年 6 月 26 日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1）氏　　名：滝上　なお子(タキガミ　ナオコ)
生年月日：昭和 58 年 2 月 26 日
施 設 名：医）那覇西会
那覇西クリニック
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 29 年 5 月 1 日
診療科目：乳腺外科・外科
出 身 校：日本医科大学医学部
班　　名：小禄班

2）氏　　名：安里　瞳（アサト　ヒトミ）
生年月日：昭和 53 年 10 月 26 日
施 設 名：医）水晶会
安里眼科 おもろまち駅前
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
入会月日：平成 29 年 6 月 1 日
診療科目：眼科
出 身 校：大分医科大学医学部

班　　名：崇元寺班
(2) 異動会員
1) 氏　　名：大城　兼博(オオシロ　カネヒロ)
施 設 名：自宅会員
異動理由：現住所変更（転居）
異動月日：平成 29 年 5 月 25 日
班　　名：美栄橋班
2) 氏　　名：當山　拓也(トウヤマ　タクヤ)
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：管理者交代・会員区分変更
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
異動月日：平成 29 年 6 月 1 日
班　　名：久茂地班
3) 氏　　名：當山　護(トウヤマ　マモル)
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：管理者交代・会員区分変更
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
異動月日：平成 29 年 6 月 1 日
班　　名：久茂地班
4) 氏　　名：玉城　仁（タマキ　ヒトシ）
施 設 名：医）はごろも会 仲本病院
異動理由：管理者交代・会員区分変更
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
異動月日：平成 29 年 6 月 1 日
班　　名：安里班
5) 氏　　名：仲本　嘉見(ナカモト　ヨシミ)
施 設 名：医）はごろも会 仲本病院
異動理由：管理者交代・会員区分変更
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
異動月日：平成 29 年 6 月 1 日
班　　名：安里班
6) 氏　　名：古謝　将昭(コジャ　マサアキ)
施 設 名：自宅会員
異動理由：古謝医院 3/31 閉院・
会員変更
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
異動月日：平成 29 年 4 月 1 日
班　　名：開南班
7) 氏　　名：玉城　静（タマキ　シズカ）
施 設 名：医）水晶会
安里眼科 おもろまち駅前
異動理由：会員変更（管理者交代）
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
異動月日：平成 29 年 6 月 1 日
班　　名：崇元寺班
(3) 退会会員
1) 氏　　名：玻座真　博公(ハザマ　ヒロキミ)
施 設 名：はざま胃腸内科クリニック
退会理由：ご逝去
退会月日：平成 29 年 4 月 20 日
班　　名：小禄班
2．チャリティー写真展実行委員会
3．第 4 回　看護専門学校運営委員会報告
4．第 2 回　病診連携委員会（懇親会）
5．那覇市医師会医業支援事業システムについて
6．生活習慣病検診センター運営委員会
7．学童定期健康診断前講習会
8．沖縄周産期ネットワーク協議会「第 23 回周産期症例検討会」
9．学術・生涯教育講演会

7 月度評議員会　議事録

〔平成 29 年 7 月 24 日（月）〕

1．会員動向
(1) 入会会員
1) 氏　　名：大村　更紗(オオムラ　サラサ)
再入会
生年月日：昭和 58 年 6 月 9 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 7 月 1 日
診療科目：産婦人科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班
2) 氏　　名：喜久村　かおり(キクムラ　カオリ)
再入会
生年月日：昭和 61 年 4 月 3 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医
入会月日：平成 29 年 7 月 1 日
診療科目：リハビリテーション科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班
3) 氏　　名：増田　暁史(マスダ　アキフミ)
生年月日：昭和 62 年 6 月 1 日
施 設 名：沖縄協同病院

会員区分：那医Ｂ・県医Ｂ・日医Ｂ
入会月日：平成 29 年 7 月 1 日
診療科目：内科・リハビリテーション科
出 身 校：杏林大学医学部
班　　名：与儀班

4）氏　　名：内之倉　弘和（ウチノクラ　ヒロカズ）
生年月日：昭和 57 年 9 月 29 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医Ｂ・県医Ｃ・日医Ｃ
入会月日：平成 29 年 7 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出 身 校：大分大学医学部
班　　名：与儀班

5）氏　　名：與那原　稔（ヨナハラ　ミノル）
生年月日：昭和 13 年 6 月 24 日
施 設 名：自宅会員
会員区分：那医Ｂ・県医Ｂ・日医Ｂ
入会月日：平成 29 年 7 月 1 日
出 身 校：東北大学医学部
班　　名：首里・松川班

(2) 異動会員

1）氏　　名：嶺井　定一（ミネイ　テイイチ）
施 設 名：嶺井医院
異動理由：施設所在地変更（移転）
住　　所：那覇市字安里 398
異動月日：平成 29 年 6 月 29 日
班　　名：壷屋班

2）氏　　名：嶺井　ミツ（ミネイ　ミツ）
施 設 名：嶺井医院
異動理由：施設所在地変更（移転）
住　　所：那覇市字安里 398
異動月日：平成 29 年 6 月 29 日
班　　名：壷屋班

3）氏　　名：嶺井　定紀（ミネイ　サダノリ）
施 設 名：嶺井医院
異動理由：施設所在地変更（移転）
住　　所：那覇市字安里 398
異動月日：平成 29 年 6 月 29 日
班　　名：壷屋班

4）氏　　名：嶺井　定嗣（ミネイ　サダツグ）
施 設 名：嶺井医院
異動理由：施設所在地変更（移転）
住　　所：那覇市字安里 398
異動月日：平成 29 年 6 月 29 日
班　　名：壷屋班

5）氏　　名：安座間　隆（アザマ　タカシ）
施 設 名：自宅会員
異動理由：安座間産婦人科医院 閉院（平成 29 年 6 月 30 日）会員区分変更（B 会員）
異動月日：平成 29 年 7 月 1 日
班　　名：美栄橋班

6）氏　　名：平良　雅人（タイラ　マサヒト）
施 設 名：医）天仁会 天久台病院
異動理由：会員区分変更（日医のみ）
異動月日：平成 29 年 8 月 1 日
班　　名：崇元寺班

7）氏　　名：平良　直人（タイラ　ナオト）
施 設 名：医）天仁会 天久台病院
異動理由：会員区分変更（日医のみ）
異動月日：平成 29 年 8 月 1 日
班　　名：崇元寺班

2．第 34 回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
3．第 1 回　入学卒業等認定委員会
4．学童定期健診後アンケート結果
5．第 2 回　大症例検討会
6．チャリティー写真展（作品出品状況）について
7．第 1・2 回　糖尿病講演会
8．学術・生涯教育講演会
9．検査部学術講演会（共用基準範囲について）
10．8 月度評議員会の開催について

9 月度評議員会　議事録

〔平成 29 年 9 月 25 日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1）氏　　名：東　理人（ヒガシ　リヒト）
生年月日：昭和 55 年 9 月 5 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医Ｂ･県医Ｂ･日医Ａ②(B)
入会月日：平成 29 年 9 月 1 日
診療科目：循環器外科（心臓･血管外科）
出 身 校：関西医科大学医学部
班　　名：与儀班

2) 氏　　名：新垣　紀子(アラカキ　ノリコ)
生年月日：昭和 41 年 11 月 21 日
施 設 名：あらかき内科クリニック
施設住所：那覇市楚辺 1-3-64 2F
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
入会月日：平成 29 年 10 月 1 日
診療科目：内科・呼吸器内科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：開南班

(2) 異動会員

1) 氏　　名：友寄　英雄(トモヨセ　ヒデオ)
施 設 名：医療法人友英会
友寄クリニック
異動理由：法人化
異動月日：平成 29 年 8 月 1 日
班　　名：開南班

2) 氏　　名：川上　祐子(カワカミ　ユウコ)
施 設 名：医療法人友英会
友寄クリニック
異動理由：法人化
異動月日：平成 29 年 8 月 1 日
班　　名：開南班

3) 氏　　名：安里　瞳（アサト　ヒトミ）
施 設 名：医）水晶会
安里眼科 おもろまち駅前
異動理由：文書送付先変更
異動月日：平成 29 年 8 月 1 日
班　　名：崇元寺班

4) 氏　　名：沖山　光則(オキヤマ　ミツノリ)
施 設 名：医）ハートマインド
こくら台ハートクリニック
異動理由：施設異動（勤務先）
施設住所：那覇市国場 1169-20
異動月日：平成 29 年 9 月 1 日
班　　名：寄宮班

5) 氏　　名：友寄　英毅(トモヨセ　エイキ)
施 設 名：医）寿仁会 クリニック絆
異動理由：施設異動（勤務先）友寄内科胃腸科（9/30 閉院）
施設住所：那覇市寄宮 2-1-18
異動月日：平成 29 年 10 月 1 日
班　　名：開南班

6) 氏　　名：知念　正人(チネン　マサト)
施 設 名：知念医院
異動理由：施設移転
施設住所：那覇市樋川 2-9-1
リバーサイドかみはら 103
異動月日：平成 29 年 10 月 1 日
班　　名：与儀班

(3) 退会会員

1) 氏　　名：下地　武義(シモジ　タケヨシ)
施 設 名：医療法人天仁会 天久台病院
異動理由：その他
異動月日：平成 29 年 3 月 31 日
班　　名：崇元寺班

2) 氏　　名：仲本　嘉見(ナカモト　ヨシミ)
施 設 名：医療法人はごろも会
仲本病院
異動理由：ご逝去
異動月日：平成 29 年 7 月 2 日
班　　名：安里班

3) 氏　　名：仲松　榮(ナカマツ　サカエ)
施 設 名：仲松胃腸科外科
異動理由：ご逝去
異動月日：平成 29 年 7 月 18 日
班　　名：久茂地班

4) 氏　　名：伊志嶺　玄喜(イシミネ　ゲンキ)
施 設 名：医療法人げんき会
伊志嶺整形外科
異動理由：ご逝去
異動月日：平成 29 年 7 月 28 日
班　　名：久茂地班

5) 氏　　名：當間　智（トウマ　サトシ）
施 設 名：沖縄赤十字病院
退会理由：医師会の異動（琉球大学医師会へ）
退会月日：平成 29 年 7 月 31 日
班　　名：与儀班

6) 氏　　名：島袋　隆(シマブクロ　タカシ)
施 設 名：沖縄協同病院
異動理由：退職
異動月日：平成 29 年 8 月 31 日
班　　名：与儀班

2．第 6 回　生活習慣病検診センター運営委員会

3．第 5 回　広報委員会

4．平成 29 年度沖縄周産期ネットワーク協議会・定期総会議事録

5．医業支援報告について
6．第35回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
7．第4回　那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
8．平成29年度在宅医療・介護連携推進事業第3回大症例検討会
9．学術・生涯教育講演会
10．第17回　チャリティー写真展について
11．ビア・パーティーinロワジールホテル報告

3．第3・4回糖尿病講演会
4．在宅医療推進の為の勉強会
5．在宅医療・介護連携推進事業「第3回意見交換会」
6．学術・生涯教育講演会（ヒアリ（火蟻）の生態について）
7．文化・芸術講演会（ワインの楽しみ方について）
8．第34回　健康ウォーキング大会開催について

10月度評議員会　議事録

〔平成29年10月23日（月）〕

1．会員動向
(1) 入会会員
1) 氏　　名：渡邊　廉也(ワタナベ　レンヤ)
生年月日：昭和56年1月12日
施 設 名：医）祥杏会
おもろまちメディカルセンター
会員区分：那医B･県医B･日医A②(B)
入会月日：平成29年10月1日
診療科目：内科・腎臓内科
出 身 校：川崎医科大学医学部
班　　名：崇元寺班
(2) 異動会員
1) 氏　　名：國吉　賢(クニヨシ　マサル)
施 設 名：ファミリークリニック小禄
異動理由：施設移転
施設住所：那覇市小禄4-1-9
異動月日：平成29年10月2日
班　　名：小禄班
(3) 退会会員
1) 氏　　名：山城　則亮(ヤマシロ　ノリアキ)
施 設 名：自宅会員
退会理由：ご逝去
退会月日：平成29年8月14日
班　　名：若狭班
2) 氏　　名：島袋　春弘(シマブクロ　ハルヒロ)
施 設 名：自宅会員
退会理由：その他
退会月日：平成29年9月30日
班　　名：与儀班
2．OIST見学ツアー

11月度評議員会　議事録

〔平成29年11月27日（月）〕

1．会員動向
(1) 入会会員
1) 氏　　名：金城　仁(キンジョウ　ヒトシ)
再入会
生年月日：昭和54年11月1日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医B・県医B・日医B
入会月日：平成29年10月1日
診療科目：整形外科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班
2) 氏　　名：上原　健(ウエハラ　タケシ)
再入会
生年月日：昭和53年1月24日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医B・県医B・日医B
入会月日：平成29年11月1日
診療科目：整形外科
出 身 校：金沢大学医学部
班　　名：与儀班
3) 氏　　名：吉川　一洋(ヨシカワ　カズヒロ)
生年月日：昭和50年7月13日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医B・県医B・日医B
入会月日：平成29年11月1日
診療科目：麻酔科・外科・循環器外科
出 身 校：久留米大学医学部
班　　名：与儀班
4) 氏　　名：日比野　世光(ヒビノ　トキミツ)
再入会

生年月日：昭和 61 年 1 月 10 日
施 設 名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 11 月 1 日
診療科目：麻酔科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：与儀班

5）氏　　名：友利　俊一(トモリ　シュンイチ)
生年月日：昭和 53 年 10 月 6 日
施 設 名：医）祐の会 上原産婦人科
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
入会月日：平成 29 年 12 月 1 日
診療科目：産婦人科
出 身 校：自治医科大学医学部
班　　名：与儀班

(2) 異動会員

1）氏　　名：大城　康一(オオシロ　コウイチ)
以下 27　名（勤務医）
施 設 名：医）おもと会
大浜第一病院
異動理由：名称変更
異動月日：平成 29 年 10 月 1 日
班　　名：崇元寺班

2．第 7 回　生活習慣病検診センター運営委員会
3．那覇市がん検診実務者会議
4．第 1 回　予防接種実務者会議
5．第 6 回　広報委員会
6．第 2 回　看護専門学校運営委員会
7．第 2 回　入学卒業認定委員会
8．学術・生涯教育講演会
9．第 5 回　那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
10．第 36 回　那覇市在宅療養支援診療所連絡会
11．在宅医療・介護連携推進事業
第 4 回　大症例検討会
12．在宅医療・介護連携推進事業「アドバンス・ケア・プランニングとエンド・オブ・ライフ・コミュニケーション研修会」
13．第 5 回　糖尿病講演会
14．第 34 回　健康ウォーキング大会
15．アットホーム懇親会

1 月度評議員会　議事録

〔平成 30 年 1 月 22 日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1）氏　　名：城本　高志(シロモト　タカシ)
生年月日：昭和 53 年 7 月 7 日
施 設 名：医）おもと会
大浜第一病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 29 年 12 月 1 日
診療科目：神経内科・内科
出 身 校：福岡大学医学部
班　　名：崇元寺班

(2) 異動会員

1）氏　　名：饒波　正吉(ノハ　セイキチ)
施 設 名：医）うまん会 のは耳鼻咽喉科
異動理由：法人化
異動月日：平成 29 年 11 月 28 日
班　　名：壷屋班

2）氏　　名：城間　和郎(シロマ　カズオ)
施 設 名：医）なごみ泌尿器科クリニック
異動理由：法人化・メールアドレス変更
異動月日：平成 29 年 12 月 1 日
班　　名：崇元寺班

3）氏　　名：上原　清昇(ウエハラ　キヨノリ)
施 設 名：医）祐の会 上原産婦人科
異動理由：会員変更（管理者交代）
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
異動月日：平成 29 年 12 月 1 日
班　　名：与儀班

4）氏　　名：宮崎　尚子(ミヤザキ　ショウコ)
施 設 名：沖縄協同病院
異動理由：氏名変更（旧姓　嘉数）
異動月日：平成 29 年 12 月 1 日
班　　名：与儀班

(3) 退会会員

1）氏　　名：前城　健二(マエシロ　ケンジ)
施 設 名：自宅会員
退会理由：ご逝去
退会月日：平成 29 年 11 月 2 日
班　　名：壷屋班

2）氏　　名：阿佐　実（アサ　ミノル）
施 設 名：医）博鳳会 つかさクリニック
退会理由：診療所移転

退会月日：平成 29 年 12 月 31 日
班　　名：小禄班
3）氏　　名：池村　豪人（イケムラ　ヒデト）
施 設 名：医）博鳳会 つかさクリニック
退会理由：退職
退会月日：平成 29 年 12 月 31 日
班　　名：小禄班

2．第 1 回　那覇看護専門学校の将来を考える会
3．平成 29 年度在宅医療・介護連携推進事業ケアマネージャー事例検討会
4．アットホーム懇親会

2 月度評議員会　議事録

〔平成 30 年 2 月 26 日（月）〕

1．会員動向
(1) 入会会員
1）氏　　名：饒波　剛（ノハ　ツヨシ）
生年月日：昭和 9 年 3 月 8 日
施 設 名：自宅会員
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 1 月 23 日
診療科目：整形外科
出 身 校：東邦大学医学部
班　　名：首里・松川班
(2) 異動会員
1）氏　　名：石原　文隆（イシハラ　フミタカ）
施 設 名：自宅会員
異動理由：石原耳鼻咽喉科医院
1/31 閉院・会員変更
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：美栄橋班
2）氏　　名：吉井　淳（ヨシイ　ジュン）
施 設 名：自宅会員
異動理由：施設異動（たから産婦人科退職）
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：与儀班
3）氏　　名：當山　拓也（トウヤマ　タクヤ）
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：施設所在地変更（仮移転）
施設住所：那覇市久茂地 3-7-1
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：久茂地班
4）氏　　名：當山　護（トウヤマ　マモル）
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：施設所在地変更（仮移転）
施設住所：那覇市久茂地 3-7-1
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：久茂地班
5）氏　　名：髙間　久美子（タカマ　クミコ）
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：施設所在地変更（仮移転）
施設住所：那覇市久茂地 3-7-1
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：久茂地班
6）氏　　名：山城　栄津子（ヤマシロ　エツコ）
施 設 名：医）形成会 当山美容形成外科
異動理由：施設所在地変更（仮移転）
施設住所：那覇市久茂地 3-7-1
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：久茂地班
7）氏　　名：銘苅　朝規（メカル　トモサト）
施 設 名：大原医院
異動理由：施設名称変更
異動月日：平成 30 年 2 月 1 日
班　　名：寄宮班
8）氏　　名：中村　紀彦（ナカムラ　ノリヒコ）
施 設 名：医）葦の会 オリブ山病院
異動理由：施設異動（勤務先）
施設住所：那覇市首里石嶺町 4-356
異動月日：平成 30 年 3 月 1 日
班　　名：首里・松川班
(3) 退会会員
1）氏　　名：長田　紀春（ナガタ　キシュン）
施 設 名：自宅会員
退会理由：ご逝去
退会月日：平成 29 年 12 月 22 日
班　　名：松尾班
2）氏　　名：新垣　光之（アラカキ　ミツユキ）
退会理由：医師会の異動 クリア・スキンクリニック那覇 1/31 閉院
退会月日：平成 30 年 1 月 31 日
班　　名：安里班
3）氏　　名：神里　賢三（カミザト　ケンゾウ）

施 設 名：国場十字路医院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 2 月 28 日
班　　名：与儀班

2．第 8 回　那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
3．第 5 回　在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
4．第 4 回　入学卒業認定委員会
5．第 7 回　広報委員会
6．第 9・10 回　学術・生涯教育講演会
7．平成 29 年度那覇市 CKD 病診連携事業
8．第 1 回　うつ病対策強化事業（講演会）

3 月度評議員会　議事録

〔平成 30 年 3 月 26 日（月）〕

1．会員動向

(1) 入会会員

1) 氏　　名：崎原　幸美(サキハラ　ユキミ)
生年月日：昭和 34 年 11 月 19 日
施 設 名：医）おもと会 大浜第一病院 総合健康管理センター
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 3 月 1 日
診療科目：内科・耳鼻咽喉科・その他
出 身 校：北里大学医学部
班　　名：崇元寺班

2) 氏　　名：佐久川　紀彦(サクガワ　ノリヒコ)
生年月日：昭和 47 年 1 月 7 日
施 設 名：医）禄寿会 小禄病院
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 3 月 1 日
診療科目：放射線科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：小禄班

3) 氏　　名：山城　剛(ヤマシロ　ツヨシ)
生年月日：昭和 43 年 5 月 20 日
施 設 名：かいせいクリニック
会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：消化器内科・内科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：小禄班

4) 氏　　名：大見　剛（オオミ　ツヨシ）
生年月日：昭和 49 年 5 月 5 日
施 設 名：かいせいクリニック
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：小児科
出 身 校：琉球大学医学部
班　　名：小禄班

5) 氏　　名：仲本　正人(ナカモト　マサト)
生年月日：昭和 58 年 1 月 22 日
施 設 名：医）紅荔会 仲本クリニック
会員区分：那医 B･県医 B･日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：内科
出 身 校：北里大学医学部
班　　名：崇元寺班

(2) 異動会員

1) 氏　　名：辻田　敏（ツジタ　サトシ）
施 設 名：辻田労働衛生コンサルタント・産業医事務所
異動理由：施 設 移転
施設住所：那覇市おもろまち 4-19-3 イーストヒル 701 号
異動月日：平成 30 年 3 月 1 日
班　　名：牧志班

2) 氏　　名：齋藤　實(サイトウ　マコト)
施 設 名：自宅会員
異動理由：自宅転居
異動月日：平成 30 年 3 月 1 日
班　　名：若狭班

(3) 退会会員

1) 氏　　名：石田　友樹(イシダ　トモキ)
施 設 名：はいさいクリニック
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：安里班

2) 氏　　名：安次嶺　宏哉(アシミネ　ヒロヤ)
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

3) 氏　　名：岩倉　真也(イワクラ　シンヤ)
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：退職

評　議　員　会

退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

4) 氏　　名：久場　弘子（クバ　ヒロコ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：退職
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

5) 氏　　名：谷口　彩（タニグチ　アヤ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：退職
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

6) 氏　　名：玉城　由佳理（タマシロ　ユカリ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：その他
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

7) 氏　　名：中里　結花（ナカザト　ユカ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

8) 氏　　名：仲西　大輔（ナカニシ　ダイスケ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

9) 氏　　名：増田　暁史（マスダ　アキフミ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

10) 氏　　名：與那原　由里加（ヨナハラ　ユリカ）
施 設 名：沖縄協同病院
退会理由：医師会の異動
退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
班　　名：与儀班

2．第 8 回　生活習慣病検診センター運営委員会
3．第 3 回　那覇看護専門学校運営委員会
4．第 3 回　病診連携委員会
5．第 1 回　学校保健運営委員会
6．第 2 回　沖縄県周産期ネットワーク協議会・役員会
7．第 11 回　学術・生涯教育講演会
8．第 8・9 回　糖尿病講演会
9．平成 29 年度補正収支予算書（案）